

# 草津市の就学前児童を取り巻く現状と課題

平成 24 年 8 月

## 1. 草津市の上位・関連計画との関係

### ① 第5次草津市総合計画(平成 22 年3月策定)

#### 子ども・子育ての背景

少子化や就労形態の多様化などを背景として、「家族」や「育児」の姿が変化するなか、本市では子育て期にある世帯の転入が進んでおり、拡大する子ども・子育て支援の需要に応えていくことが求められます。

#### 現況

学びの基礎となる体力や豊かな情操、道徳性を培うために幼稚園、保育所(園)において就学前の子どもの教育・保育を実施しています。

#### 課題

就学前の教育の充実を図るために、幼保が連携し、教育・保育の取り組みの統一を図る必要があります。

#### 今後の取り組み

##### ○就学前教育の充実

幼稚園と保育所の連携を促進し、発達に応じた細やかな心配りのもとでの子どもの育成、また、子どもそれぞれの人間形成の基礎づくりとなる様々な体験活動の充実に努めます。

##### ○保育サービスの充実(リーディングプロジェクト)

多様な保育ニーズに対応できるよう保育サービスの充実を図るとともに、その質の向上に努めます。

##### ○保育所(園)・幼稚園の施設整備

多様化する保育需要に応えるための施設整備と、安全で安心な保育環境の充実に努めます。

幼保の連携による子どもの育成や、多様化、増加する保育ニーズへの対応が必要。

## ② 草津市次世代育成支援対策地域行動計画[後期計画](平成 22 年3月策定)

### 前期計画からの課題

- 仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実として、待機児童の解消や多様なニーズに応えるサービスの充実。
- 就学前教育の充実として、家庭教育力の向上と意識を高めるための支援。
- 多様な体験機会の充実として、子どもが参加できるような仕組みづくりとしかけの工夫や就学前児童対象事業の充実。
- 子育て相談や子育て親子が交流できる場所や機会づくり。

### 市民ニーズ調査結果

- 延長保育や一時預かりなど柔軟な保育サービスの充実が求められる。
- 幼保に通わない家庭では専門家への相談ができず、親のストレス増加が危惧される。
- 子育て不安の解消のために、情報発信の充実や気軽に相談できる場所や機会の充実が必要。
- 安全・安心な子育て環境づくりとして、子どもが安心して遊べる場所づくりが求められる。

### 基本的な考え方

基本理念：子どもの人権が尊重され、子どもと大人がともに育ちあい、笑顔輝くまち草津

基本視点：「子どもの幸せ・成長を育む視点」

「親の子育てをサポートする視点」

「社会全体で子育て・親育ちを支える視点」

「草津市の特性を活かしながら取り組む視点」

### 今後の取り組み

#### ○就学前教育の充実

人間形成の基礎を築き、学校教育へつないでいくために、保護者や地域の協力を得ながら、充実した就学前教育を提供できるよう、各種事業に取り組みます。

#### ○仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実

就労形態の多様化に対応した子育てサービスを提供するとともに、「子どもの育ち」を尊重する視点に立った、保育サービス体制の充実を図ります。また、多様な子育てニーズに対応した各種サービスの提供を展開します。

### リーディングプロジェクト

#### ○仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実

増加する保育ニーズに対応するとともに、将来の需要に効果的かつ柔軟に対応できるようにするため、保育所入所枠の拡大や家庭的保育の実施など、待機児童の早期解消に努めるとともに、多様な就労形態やニーズにあわせたサービスの充実を図ります。

人間形成の基礎を築き、学校教育へつないでいくため、充実した就学前教育が必要。待機児童の早期解消や多様なニーズに応じた保育サービス提供の充実が必要。

### ③ 草津市教育振興基本計画(平成 22 年3月策定)

#### 現状と課題

- 子育てに不安を感じている保護者が多いことが重要課題です。
- 転入者や核家族が多く、人間関係が希薄で親同士の関わりが少なくなっています。
- 子育てと就労の両立に悩む人が多くなっています。
- 子どもの人との関わりや生活体験の機会が不足しています。
- 就学前教育・保育を希望する全ての子どもが入園できるようにすることが必要であり、特に待機児童の解消が課題。
- 子どもの体験活動の充実や保護者への子育て支援の充実を図ることが求められます。
- 子どもへの虐待や養育放棄などの増加から、地域や各機関が連携して支援関係を深めることが必要です。

#### 基本的な考え方

基本理念：子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

基本方向：「子どもの生きる力を育む」、「学校の教育力を高める」、「地域に豊かな学びを創る」

#### 今後の取り組み

##### ○就学前教育の充実

就学前の教育は、学びの基礎となる体力や豊かな情操、道徳性の芽生えを培う上で重要な役割を果たすことから、幼稚園や保育所での教育や保育の充実を図ります。また、就学前の教育の充実と統一性を図る幼保連携の取り組みや、小学校教育への円滑な接続に向けた保幼小連携教育の推進を図ります。

##### ○子育て支援の充実

保護者が孤立して子育てに過度の不安や悩みを抱いたり、虐待をしたりするような事態が起こらないようにするとともに、保護者同士が交流し、安心して子育てができるよう支援の充実を図ります。

#### 重点的な取り組み

- 希望者全員が就学前施設に入園できるように努めます。
- 就学前施設では、「基本的な生活習慣」を育て、遊びを通して「体力」「自立心」「感性」「人と関わる力」等、生涯にわたって生きるための基礎となる力を育成します。
- 幼稚園と保育所の間で就学前教育の内容の統一を図ります。
- 保・幼・小の円滑な接続、交流を図ります。
- 未就園児の活動や預かり保育等の拡充を図ります。
- 教職員の専門性や指導力向上を図るため、市独自の研修を推進します。
- 各学校・園が地域や子どもの実態を踏まえ、特色のある教育課程を編成し、実行性のある取り組みを推進します。

希望する就学前施設への入所環境の確保と就学前教育の充実が必要。  
就学前の教育の統一性や小学校への円滑な接続に向けた幼保連携の推進が必要。  
乳幼児の保護者の交流や安心して子育てできる環境づくりが必要。

#### ④ 草津市保育実施計画(平成 24 年3月策定)

##### 保育・待機児童の動向

○子育て世代の流入や第2次ベビーブーム周辺世帯の出産等を背景とした就学前児童数の増加や、共働き世帯の増加や就労形態の多様化により保育需要が高まってきており、保育所入所者の増加により、待機児童が発生しています。

##### 今後の保育需要の動向

- 就学前児童の増加に伴い、平成 27 年をピークとする保育需要と待機児童が予測されることから、保育定員増加に向けた取り組みを行うことが必要です。
- 保育所整備により、就労環境の向上につながり、潜在的な保育需要を惹起することから、潜在的な保育需要を考慮し、必要な保育定員の設定を行うことが必要です。

##### 今後の取り組み

- 保育所の整備（増築・分園等）に伴う定員増。
- 家庭的保育事業の拡充。
- 弾力運用の拡大や保育士等の安定した確保に向けた取り組み。
- 多様な保育サービス（延長保育・一時預かり等）の提供。

就学前児童の増加に伴う保育需要への対応（待機児童の解消等）が必要。  
保護者のニーズ等に応じて、必要な保育サービスの提供や検討が必要。

## ⑤ 上位・関連計画から抽出した課題のまとめ

### 待機児童の解消

就学前児童の増加、共働き世帯の増加や就労形態の多様化に伴い、待機児童が増加しており、保育所の定員増加等、就学前児童の受け入れ先の確保を図ることが必要です。

### 保育サービスの充実

共働き世帯の増加や就労形態の多様化に伴い、保護者のニーズに応じた多様な保育サービス（延長保育や一時預かりなど）の提供が必要です。

### 就学前教育の充実

希望する就学前施設への入所環境を確保するとともに、幼稚園や保育所（園）での教育や保育の充実が必要です。また、未就園児の活動や預かり保育等の拡充が必要です。

### 幼・保・小の連携強化

学びの連続性が求められる中で、幼稚園と保育所（園）の教育の充実と併せて、統一性を図ることが必要です。また、小1プロブレム等への対応に向けて、幼稚園・保育所（園）と小学校の交流活動等を促進させ、円滑な小学校への接続を図ることが必要です。

### 保育士・教員の研修体制の構築

保育士・教員の合同研修や園内研修など、保育士・教員の専門性や指導向上を図るため、市独自の研修体制を構築していくことが必要です。

### 草津市の特性を活かした就学前教育の充実

各園が地域の子どもの実態や特性を踏まえ、特色ある教育過程を編成し、実行性のある取り組みを進めていくことが必要です。

### 安心できる子育て環境の充実

子育てに関する情報提供や相談支援、幼稚園・保育所（園）と地域、家庭、各関係機関が連携して支援関係を深めることが必要です。

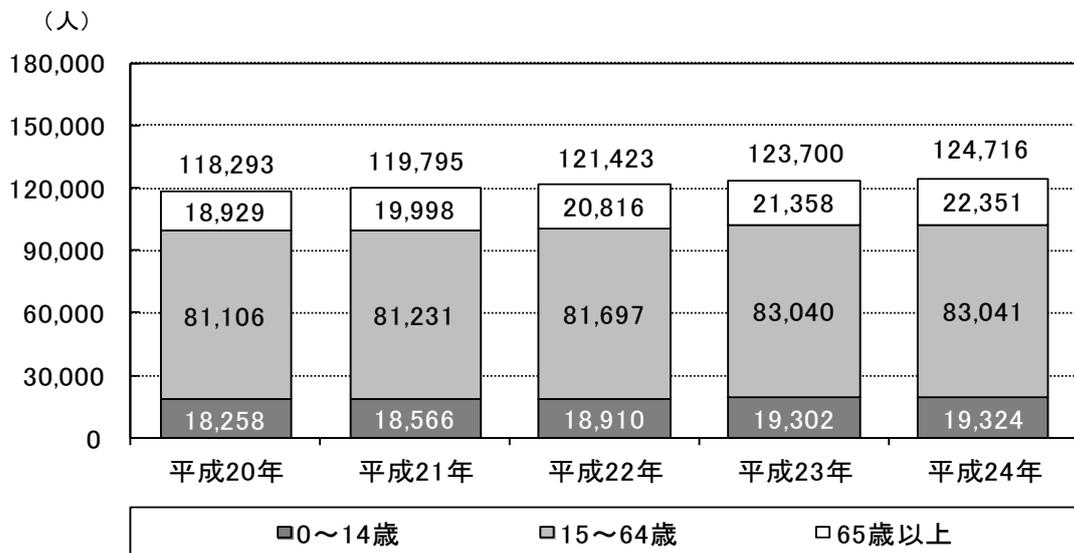
## 2. 草津市の就学前児童を取り巻く環境

### ① 人口

平成 20 年以降、総人口は緩やかな増加傾向にあり、平成 20 年から平成 23 年にかけて毎年約 1,500 人から約 2,200 人増加してきましたが、平成 23 年から平成 24 年は約 1,000 人の伸びと鈍化しています。

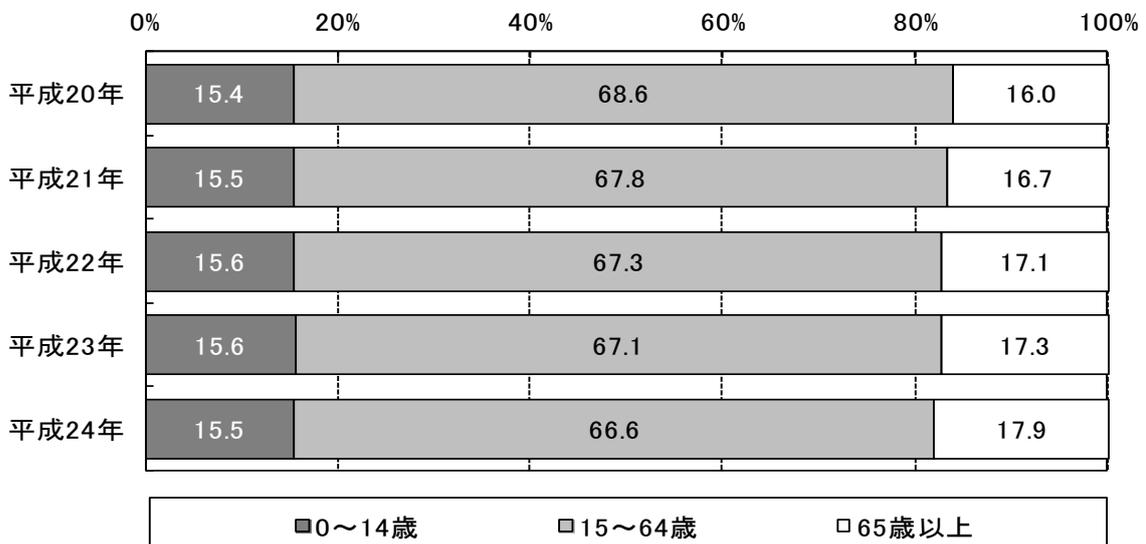
また、65 歳以上人口の増加割合が高くなっている一方、0～14 歳人口や 15～64 歳人口の増加割合が低くなっている中で、今後子どもの数の増加に歯止めがかかることも予測されます。

#### ■人口の推移



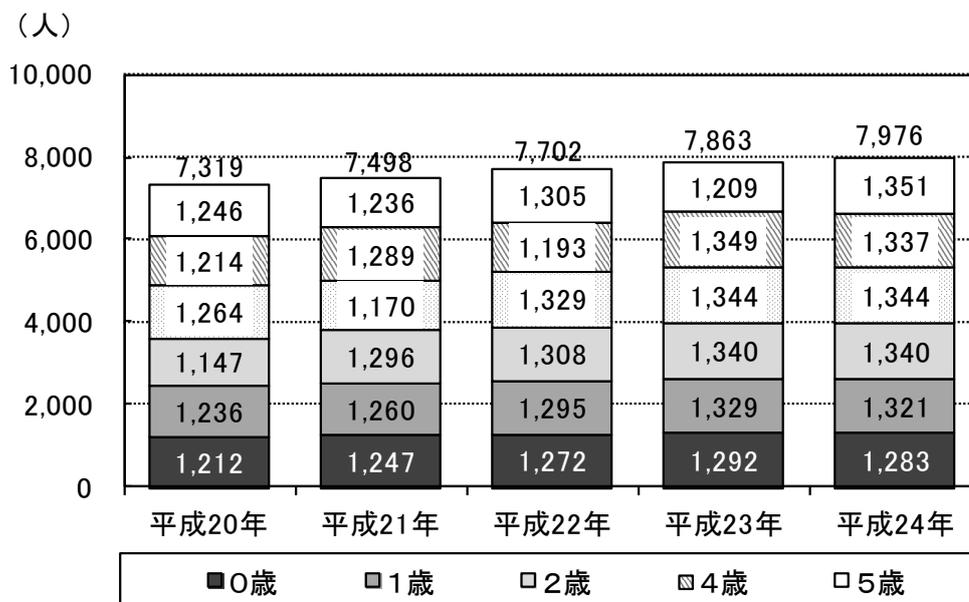
年齢 3 区分別人口割合についても、65 歳以上人口割合のみが増加傾向にある一方、0～14 歳人口は横ばい傾向にあります。

#### ■年齢 3 区分別人口割合の推移



平成 20 年以降、就学前児童（0歳～5歳）は緩やかな増加傾向にあり、平成 20 年から平成 23 年にかけて毎年約 160 人から約 200 人増加してきましたが、平成 23 年から平成 24 年は約 110 人の伸びと鈍化しています。今後、総人口の推移を含め、就学前人口の推移に注視していく必要があります。

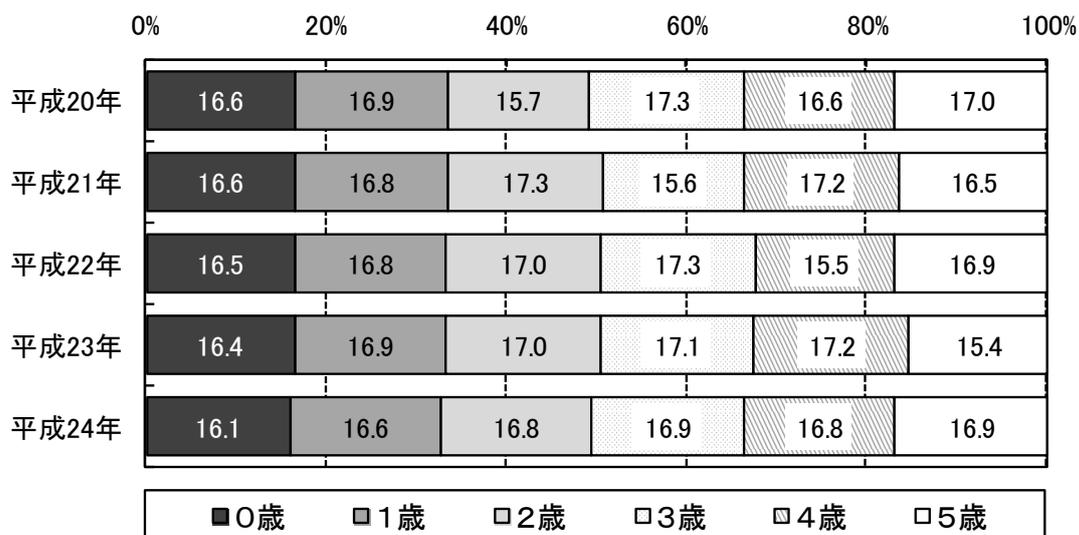
### ■年齢別就学前児童数の推移



資料：住民基本台帳及び外国人登録人口（各年4月1日現在小学校区別計）

平成 24 年の年齢別就学前児童割合は、各年齢ともに 16%台であり、均等な児童割合となっています。

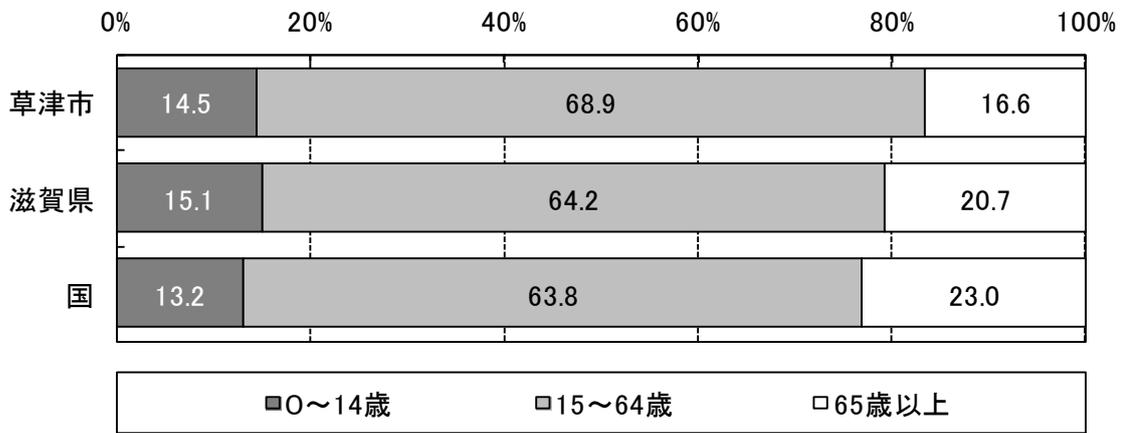
### ■年齢別就学前児童割合の推移



資料：住民基本台帳及び外国人登録人口（各年4月1日現在小学校区別計）

草津市の年齢3区分別人口割合について、滋賀県及び国と比較すると、特に15～64歳人口割合が高く、65歳以上人口割合が低くなっています。0～14歳人口割合については、国よりも高く、子どもの占める割合が全国と比べて高いことがわかります。

■平成22年における年齢3区分別人口割合の比較

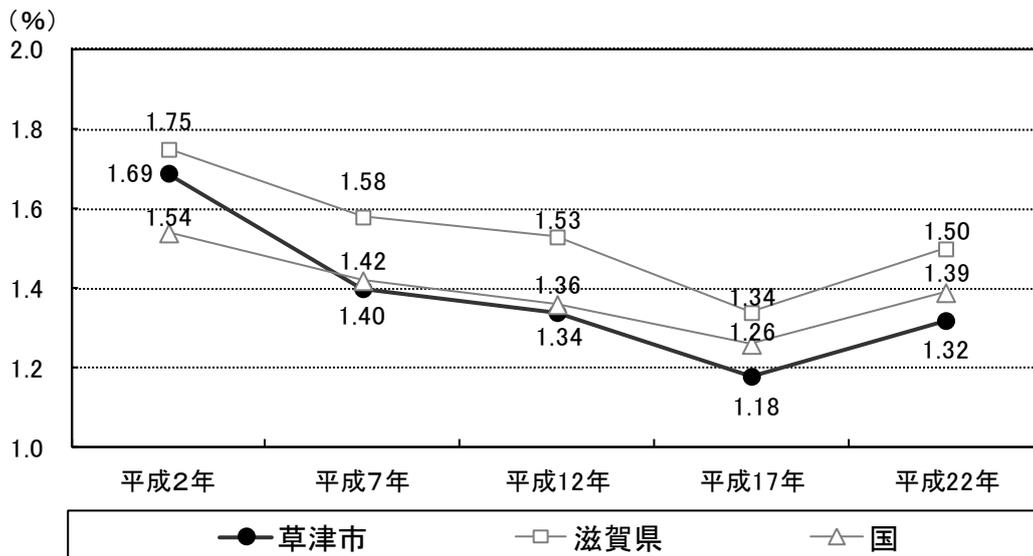


資料：国勢調査

※年齢不詳は除く。また、調査方法が異なるため、草津市の人口割合について6ページの値と一致しない。

合計特殊出生率※は平成2年～平成17年にかけて減少した後、平成22年には増加していますが、平成2年と平成22年を比べると減少傾向にあり、子どもを生む割合や出産する子どもの数が減少していることが伺えます。

■合計特殊出生率の比較

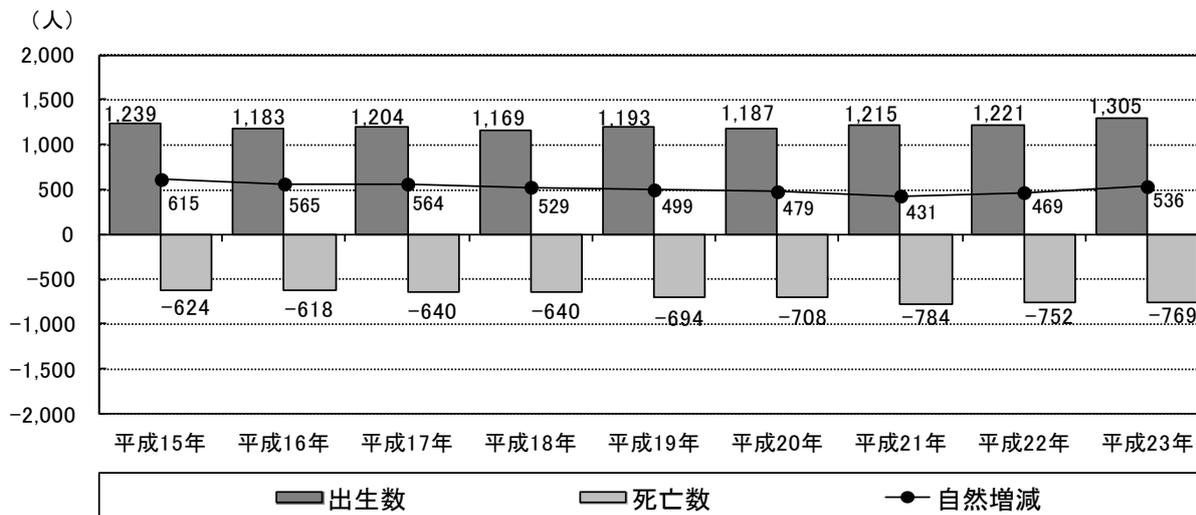


資料：人口動態統計、草津市母子保健計画、南部健康福祉事務所（草津保健所）事業年報

※合計特殊出生率…15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、すべての女性が等しく子どもを生むと仮定した場合に、1人の女性が一生の間に生む子どもの人数。

自然動態※では、出生数が死亡数を上回り、人口増加の要因となっています。平成15年以降、自然増減は減少傾向でしたが、平成22年以降増加に転じています。

### ■自然動態

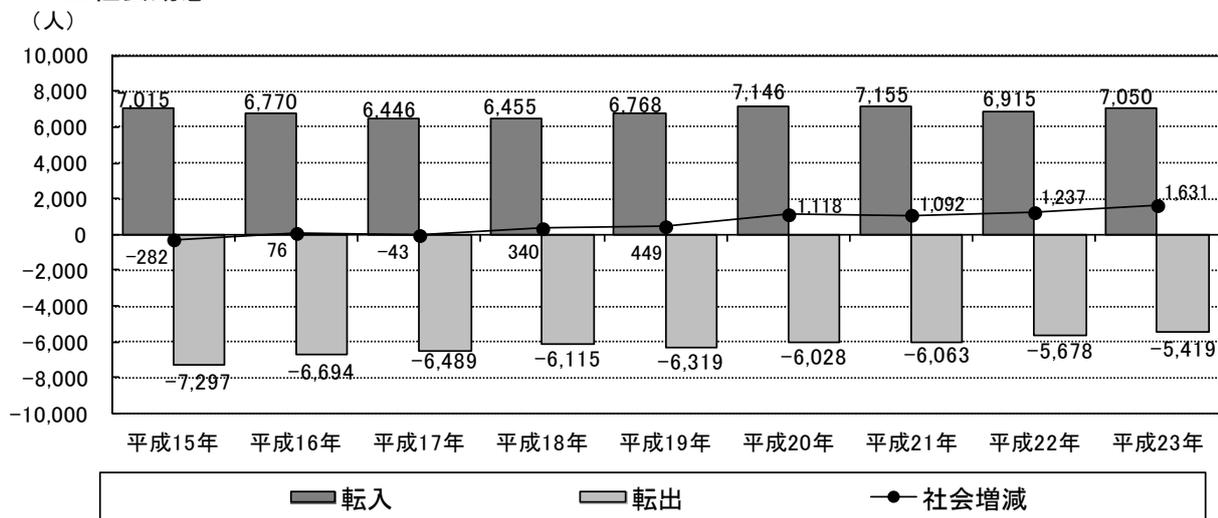


資料：草津市統計書

※自然動態…出生数から死亡数を減じた数。

社会動態※では、平成15年～平成18年まで増減を繰り返していましたが、それ以降増加傾向となっております。平成20年以降は転入者数が転出者数を大きく上回り、1,000人以上の社会動態の増加となっております。

### ■社会動態

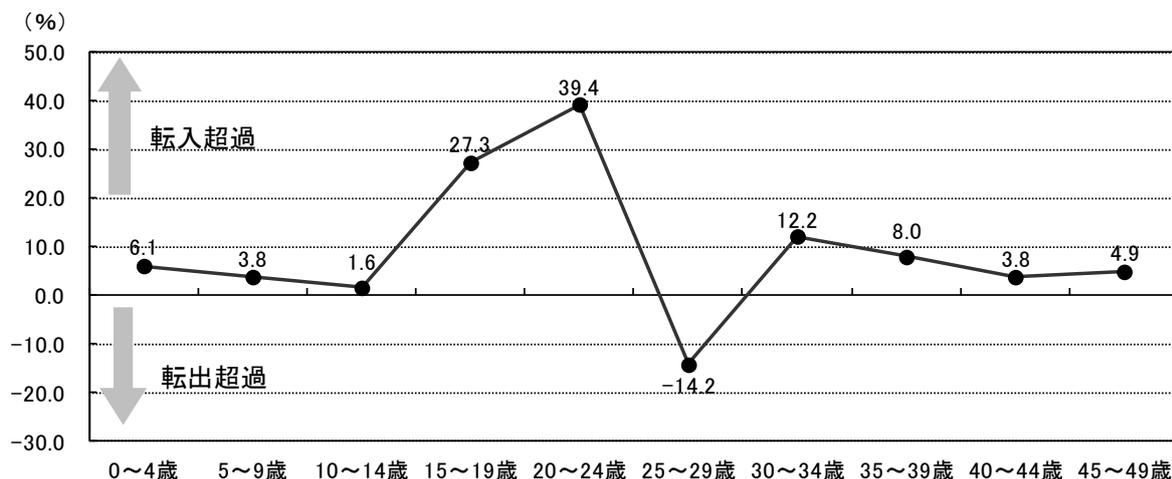


資料：草津市統計書

※社会動態…転入者数から転出者数を減じた数。

年齢別の転出入人口割合では、15～19歳や20～24歳の転入超過が多くなる一方で、25～29歳の転出超過が多くなっています。大学入学に伴い、草津市に転入した若者が、卒業後に大量に市外に転出している傾向がみられます。その中で、30～34歳の転入超過も高い割合を示しており、子育て世代の転入が多いことも伺えます。

### ■年齢別転出入人口割合



### ■年齢別の転出入状況（抜粋）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
人口(人)	6,320	6,247	6,185	7,747	11,742	8,304	9,748	11,268	9,360	7,784
転入(人)	911	1,261	574	2,520	6,404	3,377	3,976	3,076	1,595	1,103
転出(人)	525	1,021	474	402	1,782	4,557	2,787	2,178	1,237	721
社会増減(人)	386	240	100	2,118	4,622	-1,180	1,189	898	358	382
年齢別転出入割合 (%)	6.1	3.8	1.6	27.3	39.4	-14.2	12.2	8.0	3.8	4.9

資料：国勢調査

※年齢別転出入割合は、各年齢の人口に対して、転出入人口を除算した数。

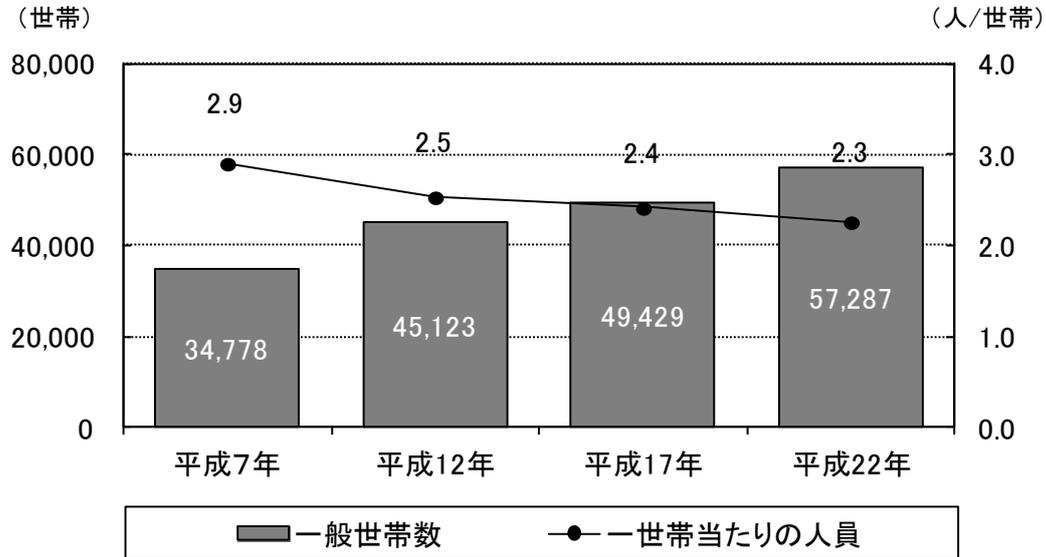
## ① 人口のまとめ

- 総人口は緩やかに増加しており、就学前児童数が増加しています。
- 合計特殊出生率が減少傾向にあり、今後就学前児童が減少していくことが予測されます。
- 転入超過の傾向があり、子育て世代の転入も多くなっています。

## ② 世帯

一般世帯数\*が増加する一方で、一世帯当たりの人員は減少しており、核家族化や高齢化等に伴う単独世帯数の増加が想定されます。

### ■草津市における一般世帯数と一世帯当たりの人員の推移

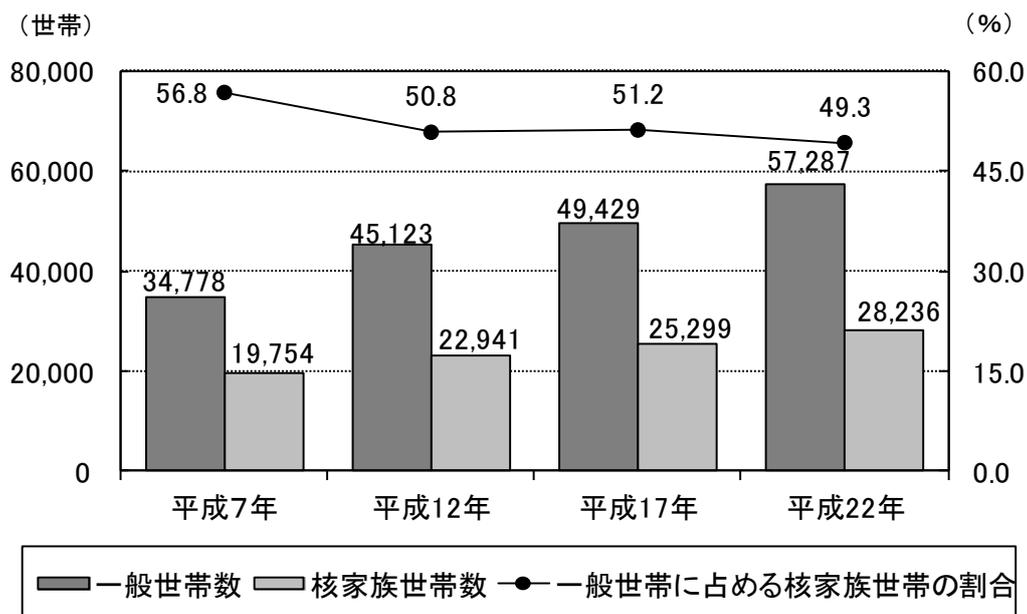


資料：国勢調査

※一般世帯…施設等に入っている世帯を除く世帯で、住居と生計を共にしている人の集まりまたは単身者。

一般世帯数の増加に伴い、核家族世帯数\*が増加しています。一方で、一般世帯に占める核家族世帯の割合は減少しており、近年の核家族世帯の増加割合を上回る単独世帯の増加によるものと考えられます。

### ■草津市における核家族世帯数等の推移

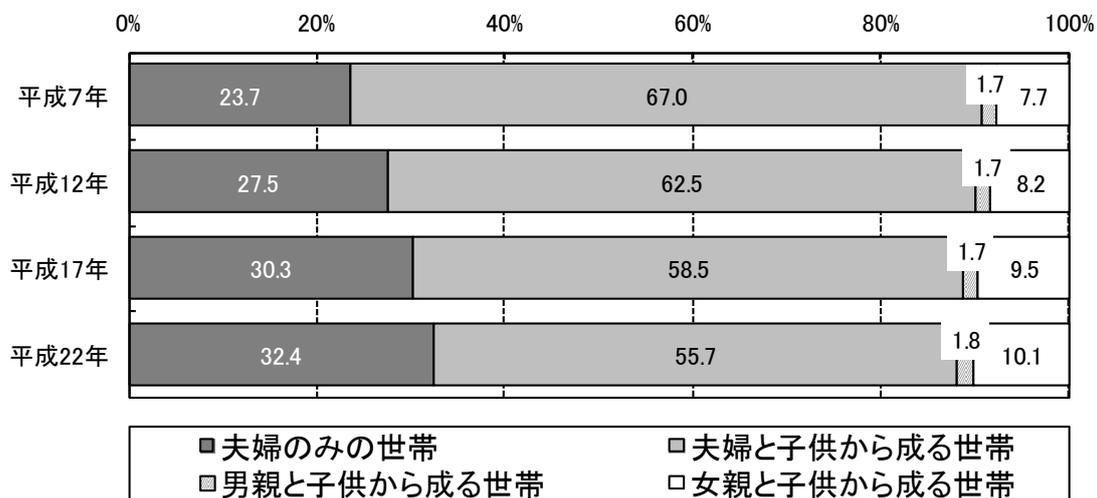


資料：国勢調査

※核家族世帯…親族のみで構成される世帯のうち、夫婦のみ、夫婦とその子ども、ひとり親とその子どもで構成される世帯。

核家族世帯の内訳としては、夫婦のみの世帯割合が増加している一方で、夫婦と子供から成る世帯割合は減少しています。また、女性と子供から成るひとり親家庭の割合も増加しており、それら世帯の保育ニーズが増加していることも考えられます。

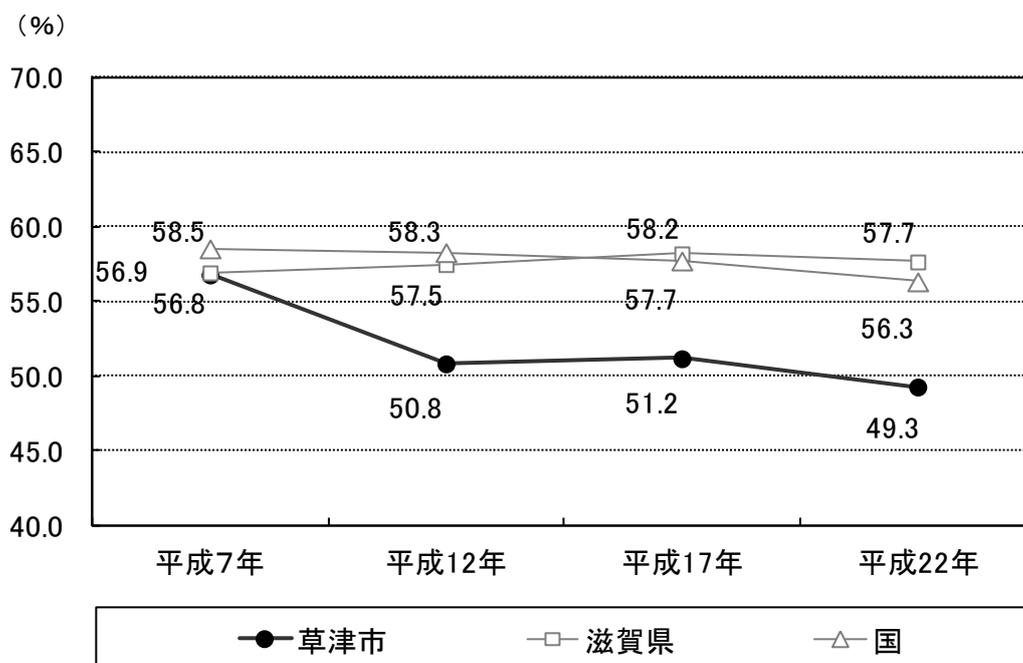
■草津市における核家族世帯の内訳



資料：国勢調査

草津市の一般世帯に占める核家族世帯の割合は、滋賀県及び国と比べて低くなっており、近年の核家族世帯の増加割合を上回る単独世帯の増加割合が高いことが伺えます。

■一般世帯に占める核家族世帯の割合の比較



資料：国勢調査

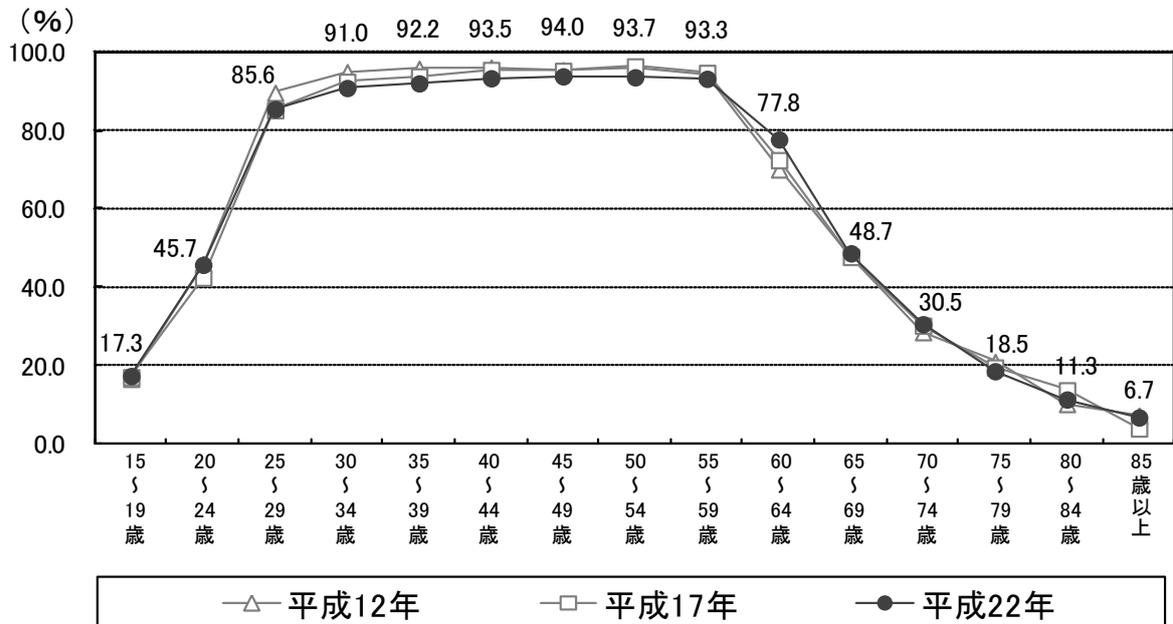
## ② 世帯のまとめ

- 核家族世帯数が増加しており、家庭・地域での保育・教育機能の充実が求められます。
- 夫婦と子どもから成る世帯が減少しており、子どもがさまざまな世代と触れ合う機会が少なくなっていることが伺えます。

## ③ 就業の状況

20歳代前半から50歳代後半の男性の労働力率\*は90%以上となっており、ほとんどの男性が就業しています。

■草津市における労働力率の推移（男性）



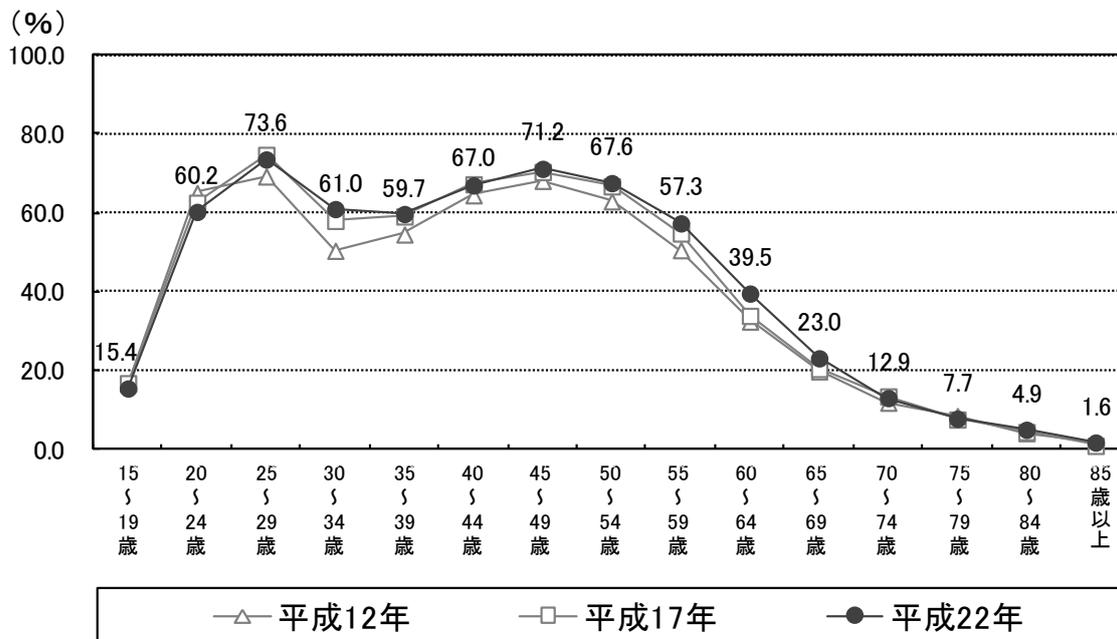
資料：国勢調査

\*グラフ内の数値は、平成22年における各年齢別の労働力率を表す。

※労働力率…15歳以上の人口に占める就業者と完全失業者の割合。

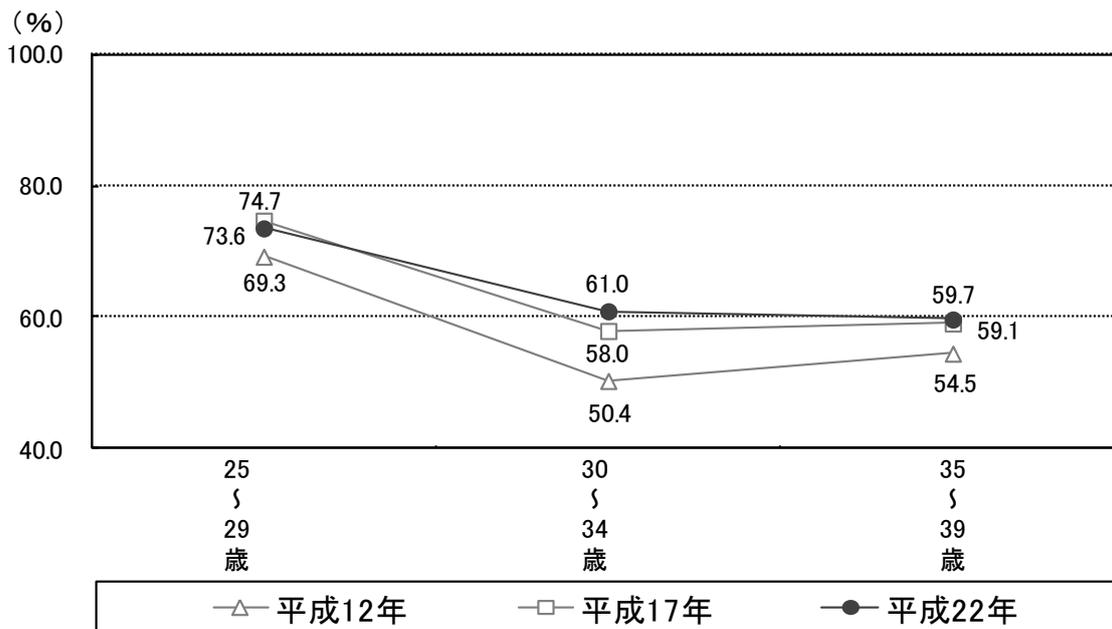
女性の労働力率は、20歳代後半でピークを迎えた後、出産・子育て期に入る30歳代前半～後半で底をつき、その後再び上昇するというM字曲線を描いています。中でも、30～34歳をはじめとする子育て世代の労働力率は年々増加しており、働く女性の保育ニーズが高まっていることが伺えます。

■草津市における労働力率の推移（女性）



資料：国勢調査  
 ※グラフ内の数値は、平成22年における各年齢別の労働力率を表す。

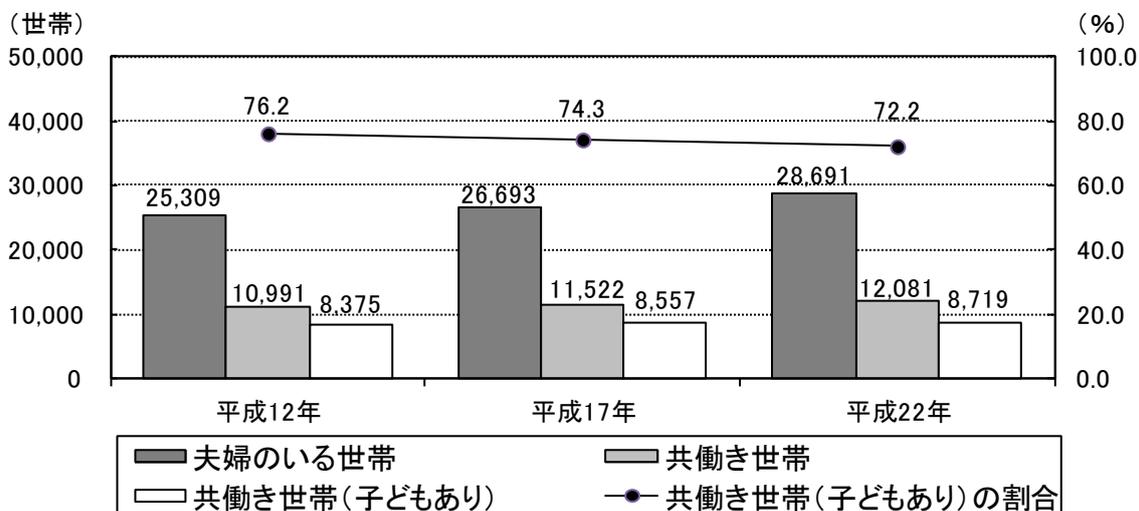
■草津市における労働力率の推移（女性、25～39歳抜粋）



資料：国勢調査

夫婦のいる世帯に占める共働き世帯の数は増加しています。また、共働き世帯のうちの7割は子どもを育てている世帯となっています。

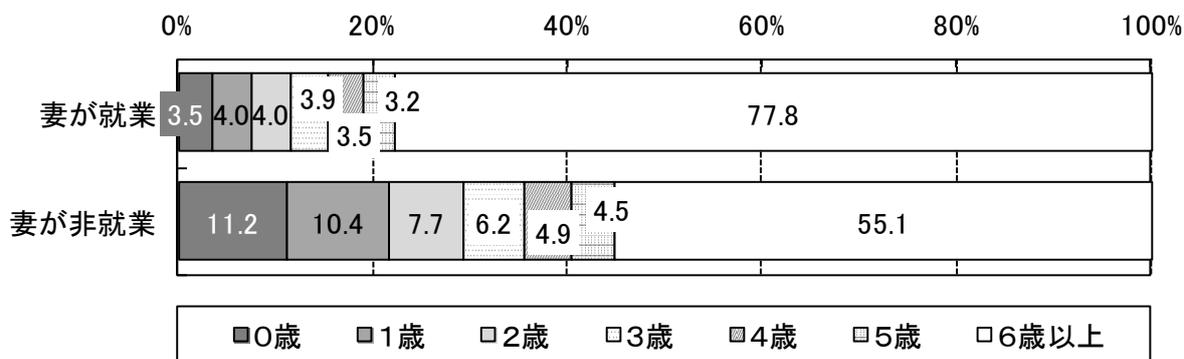
■草津市における共働き世帯の状況



資料：国勢調査

子どもを育てている共働き世帯における子どもの年齢をみると、5歳児以下の割合が20%以上となっており、今後、女性の労働力率の増加や就労形態の多様化が進む中で、就学前児童の保育需要が高まっていくと予測されます。

■草津市における夫が就業者である世帯のうち、子どもを持つ妻の就業・非就業別最年少の子どもの年齢（平成22年）



資料：国勢調査

③ 就業のまとめ

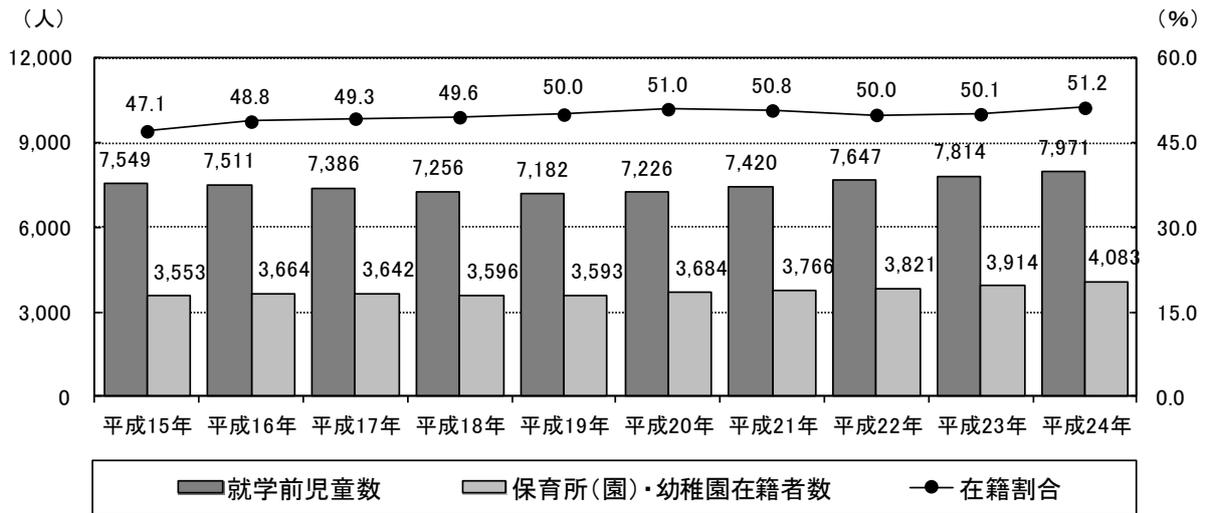
- 子育て世代の労働力率は年々増加しており、働く女性の保育ニーズの高まりへの対応が必要です。
- 共働き世帯が増加し、多様な就労形態が進む中で、必要とされる保育需要と多様な就労形態に対応した就学前児童の受け皿が求められます。

### 3. 草津市の認可保育所(園)・幼稚園における現状と課題

#### ① 認可保育所(園)・幼稚園の在籍状況

就学前児童数の増加に伴い、保育所(園)・幼稚園在籍者数も増加しています。就学前児童全体における在籍割合は平成19年以降半数を超えています。

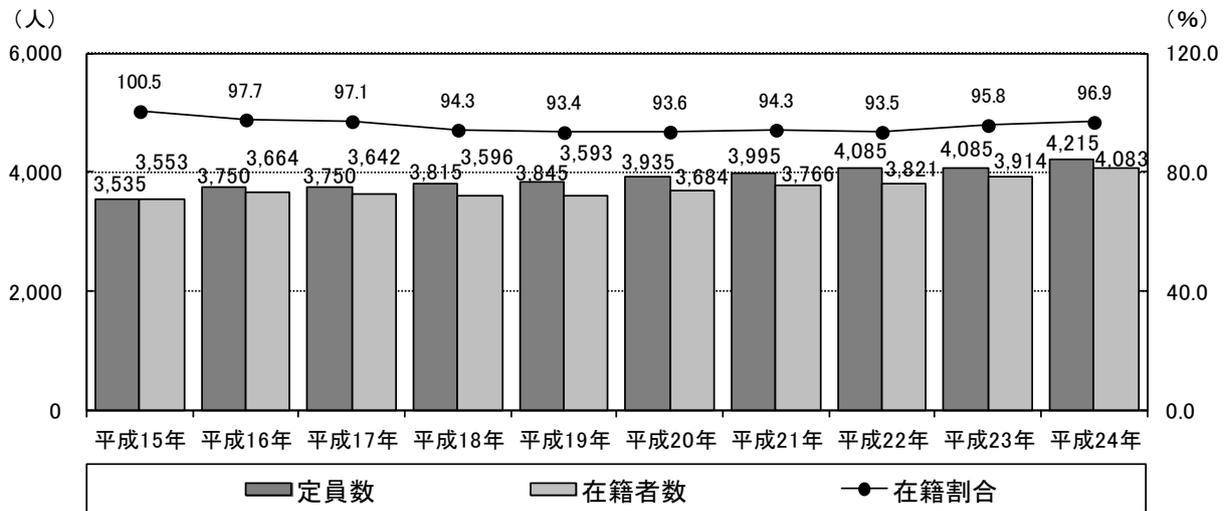
##### ■就学前児童数と認可保育所(園)・幼稚園の在籍者数



資料：就学前児童数は住民基本台帳及び外国人登録人口（各年4月1日現在）  
 認可保育所(園)・幼稚園在籍者数/幼児課（各年5月1日現在）

認可保育所(園)・幼稚園の定員数が拡大され、平成16年度以降、認可保育所(園)・幼稚園(就学前施設)全体における在籍割合は概ね90%代で推移しています。平成24年において、就学前施設全体としては、在籍者数が定員数より約130名下回っており、受入れの余地があります。

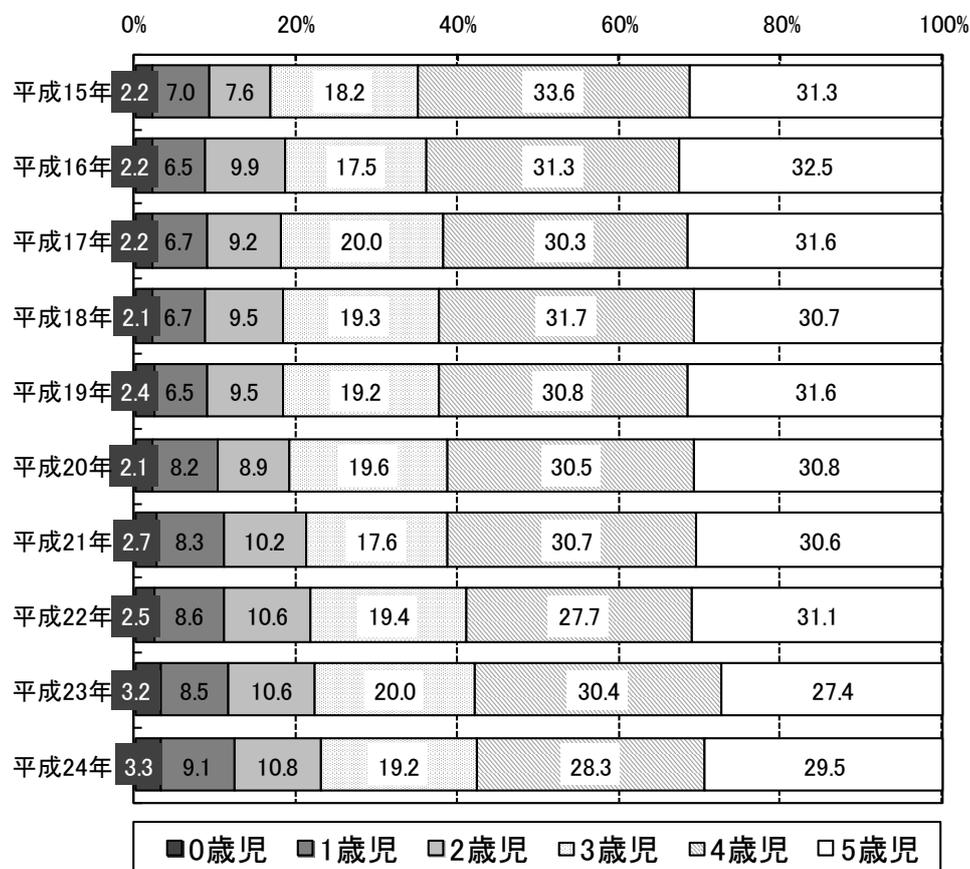
##### ■認可保育所(園)・幼稚園の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

0～3歳児の占める割合が増加傾向にある一方で、4歳児・5歳児の占める割合は減少傾向にあります。

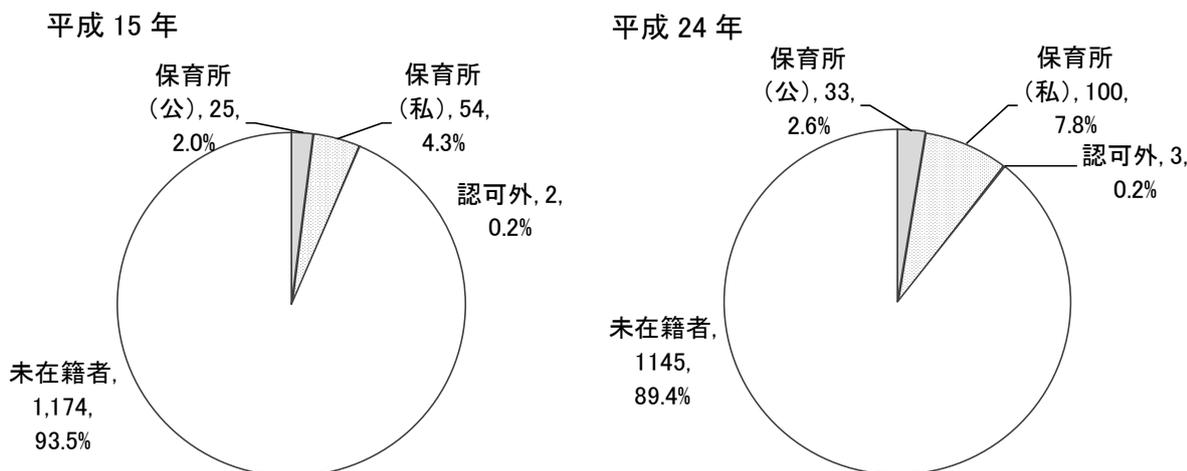
■年齢別認可保育所（園）・幼稚園の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

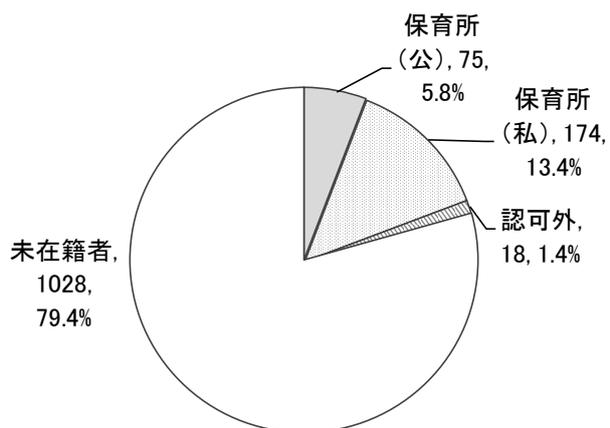
平成24年における0～5歳児の就学前施設在籍状況をみると、0～2歳児では未在籍者割合が6～9割と半数を超えていますが、3歳児では約3割となり、4歳児・5歳児ではほぼ全員がいずれかの就学前施設に在籍している状況です。また、平成15年と平成24年を比較すると、4歳児を除き、未在籍者割合は減少しています。

■0歳児の就学前施設在籍状況

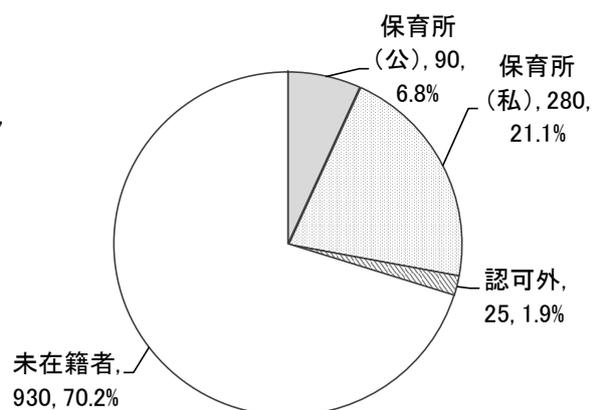


■ 1 歳児の就学前施設在籍状況

平成 15 年

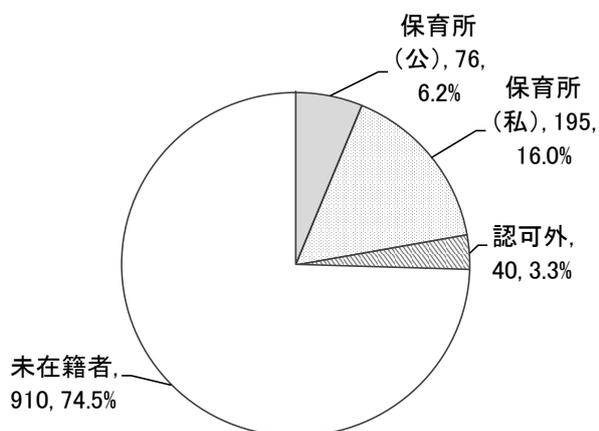


平成 24 年

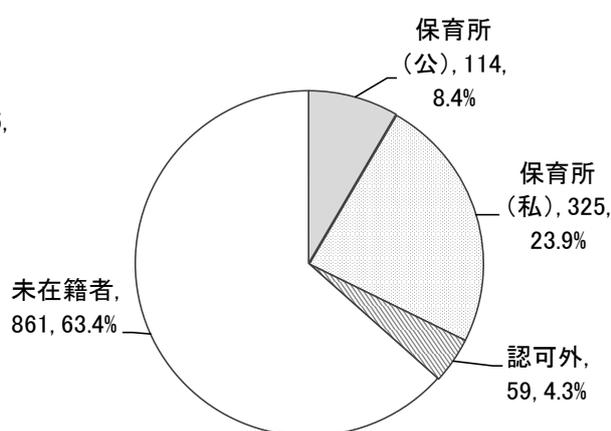


■ 2 歳児の就学前施設在籍状況

平成 15 年

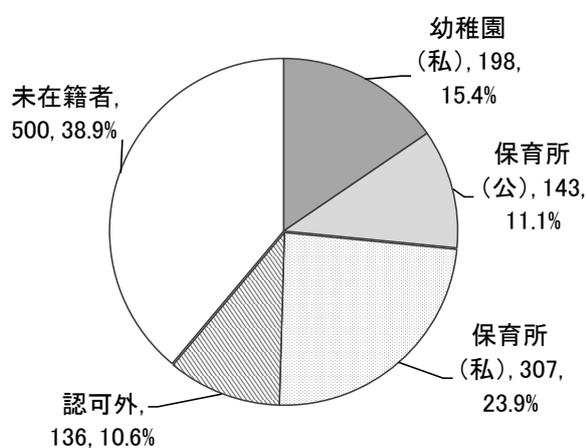


平成 24 年

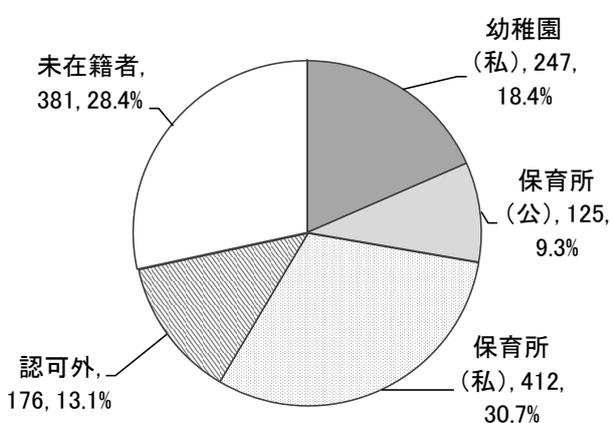


■ 3 歳児の就学前施設在籍状況

平成 15 年

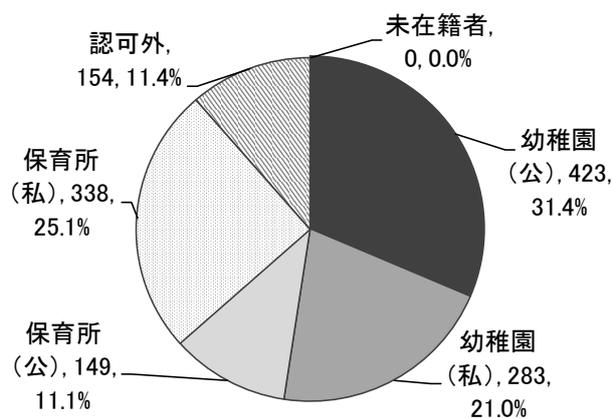


平成 24 年

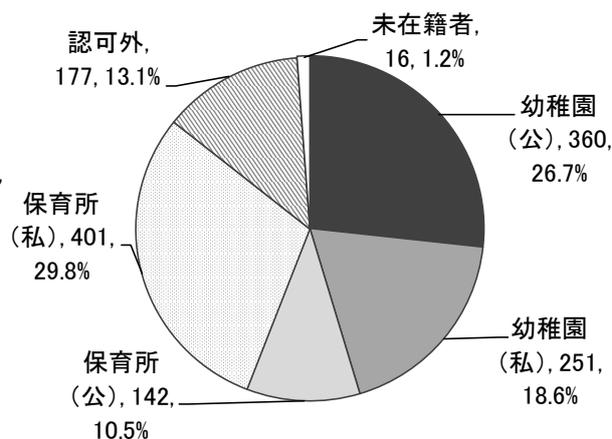


## ■ 4 歳児の就学前施設在籍状況

平成 15 年

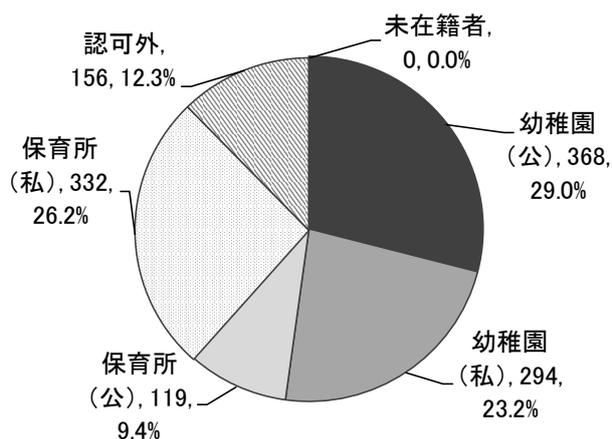


平成 24 年

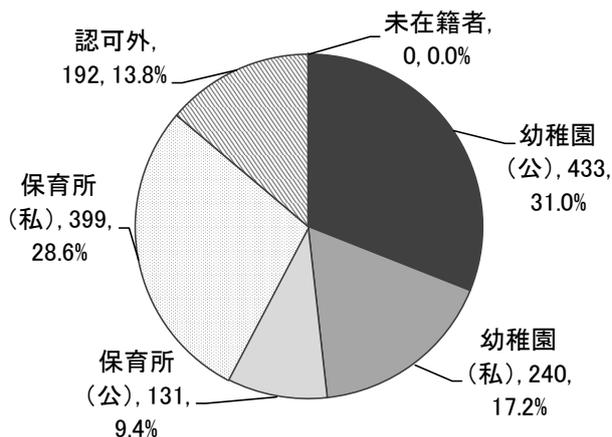


## ■ 5 歳児の就学前施設在籍状況

平成 15 年



平成 24 年



資料：幼児課（各年 5 月 1 日現在）※認可外は施設型の認可外保育施設を集計

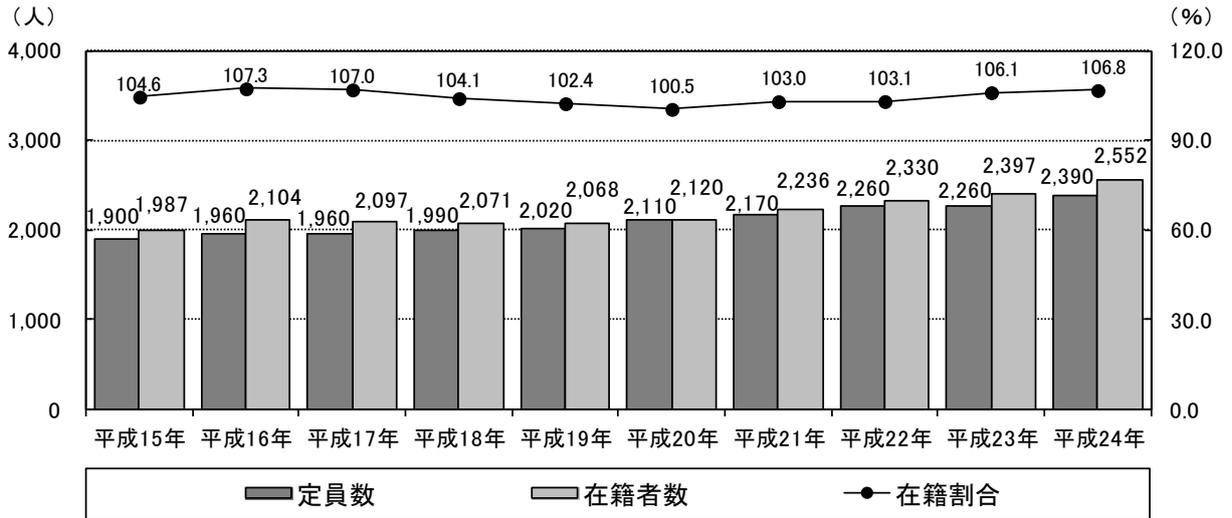
### ① 認可保育所（園）・幼稚園のまとめ

- 就学前施設（認可保育所（園）・幼稚園）全体として、在籍児童数が増加しています。
- 就学前施設全体としては、定員を下回っており、受入れの余地があります。
- 4 歳児・5 歳児の概ね 100%が幼稚園や保育所等の就学前施設に在籍しており、3 歳児の約 28.4%が現在、未就園となっており、幼児教育の提供体制が求められます。
- 3 歳児の未就園層に対する幼児教育をどのように提供していくか、幼稚園・保育所相互のあり方を含めながら、検討していく必要があります。

## ② 認可保育所(園)の在籍状況

認可保育所(園)全体の在籍割合は100%を超えており、定員超過の状態が続いています。(職員配置や保育室面積の基準の範囲内で、定員の弾力運用(定員を超えた受入れ)を行っています。)就学前児童数が増加する中で、保育を求める就学前児童の受け入れ先の確保が求められています。

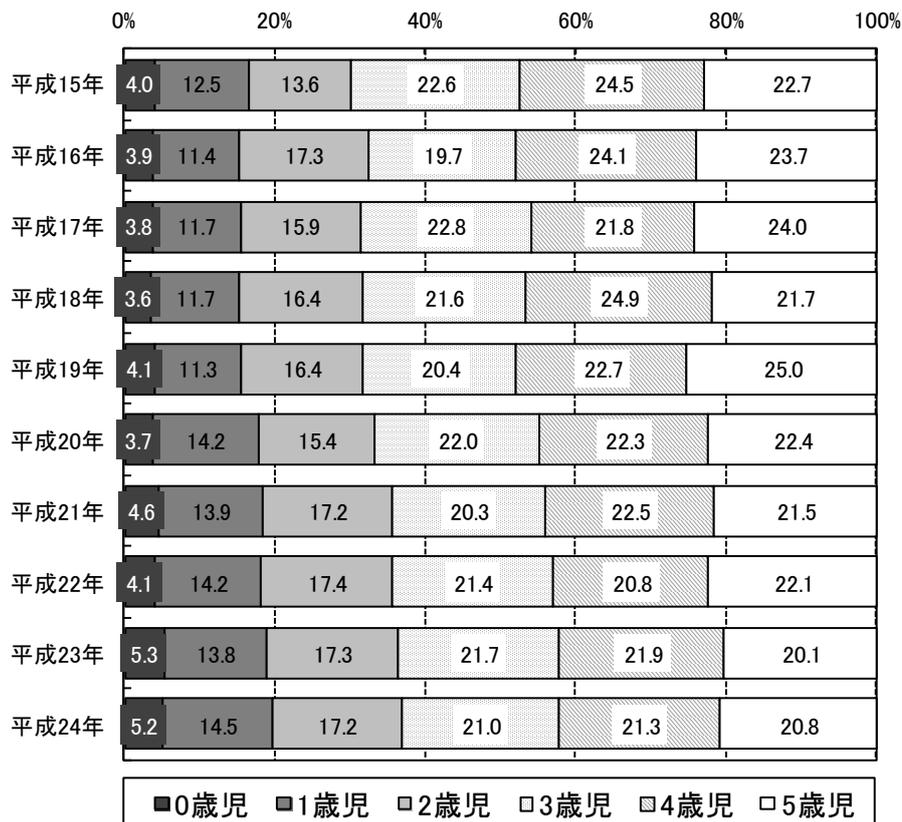
### ■認可保育所(園)の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

0～2歳児の占める割合が増加傾向にある一方で、3～5歳児の占める割合は減少傾向にあります。

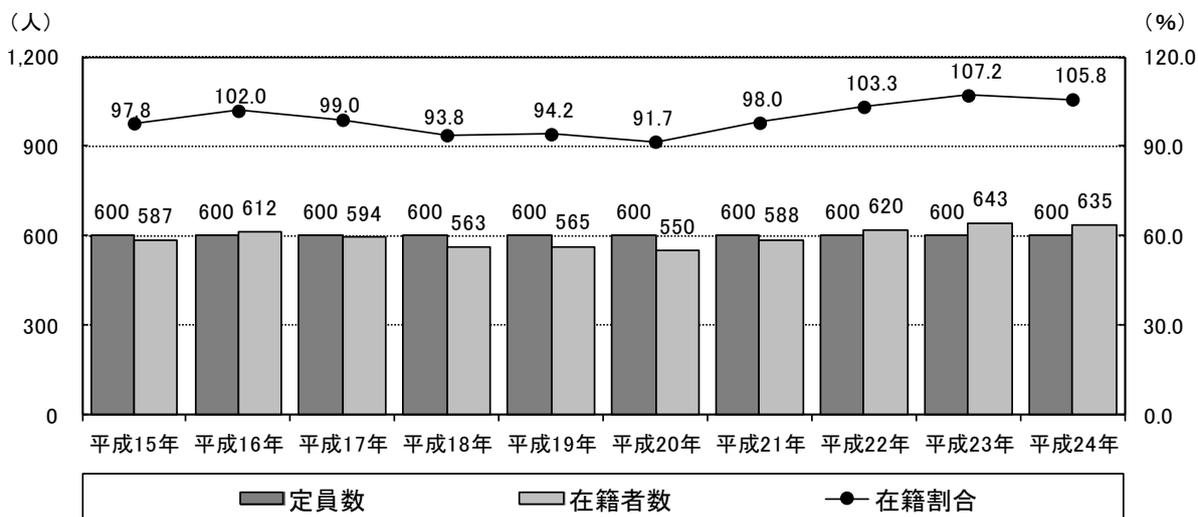
### ■年齢別認可保育所(園)の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

公立の認可保育所の在籍割合は、平成17年以降100%を下回っていましたが、平成22年を境に再び定員超過となっています。

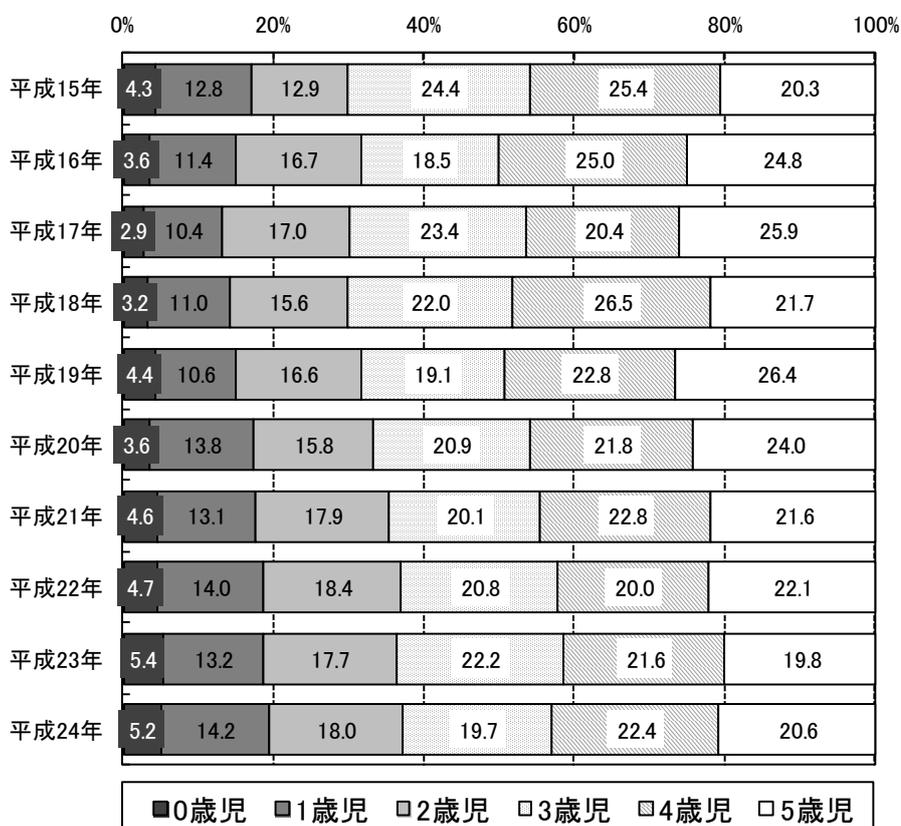
■認可保育所（公立）の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

0～2歳児の占める割合が増加傾向にある一方で、3歳児・4歳児の占める割合は減少傾向にあります。

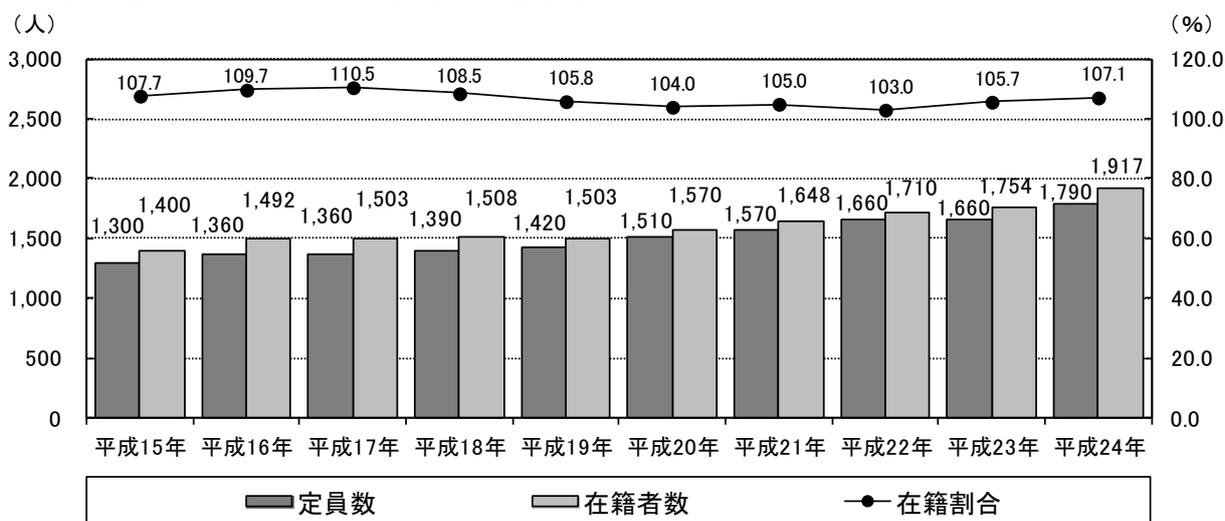
■年齢別認可保育所（公立）の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

私立の認可保育所の在籍割合は、100%を超え、定員超過となっています。

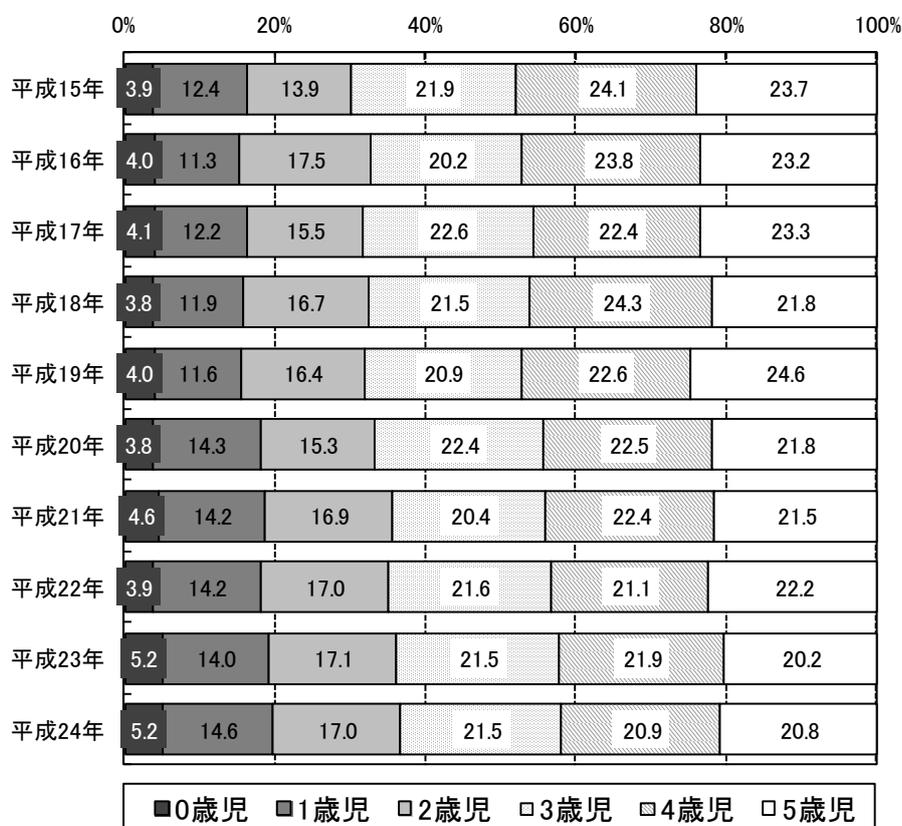
■認可保育所（私立）の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

0～2歳児の占める割合が、増加傾向にある一方で、4歳児・5歳児が占める割合は減少傾向にあります。また、3歳児の占める割合はほぼ横ばいで推移しています。

■年齢別認可保育所（私立）の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

認可保育所（園）の在籍状況では、公立・私立ともに定員超過と定員割れの保育所（園）があり、地域間での較差が生じています。

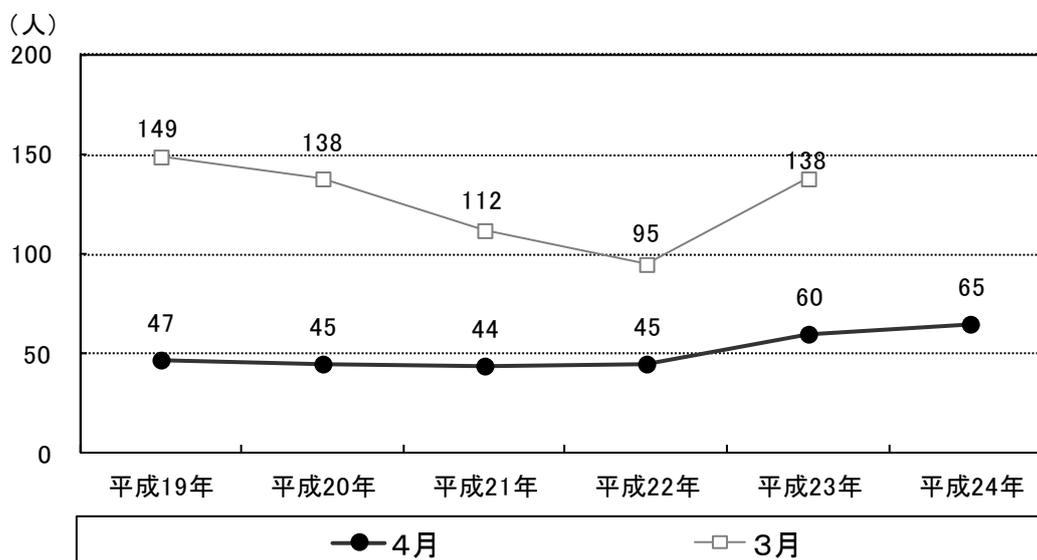
■認可保育所（園）の在籍状況一覧

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	
公立	草津	定員数(人)	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
		在籍数(人)	102	106	106	102	102	102	99	103	107	108
		在籍割合(%)	113.3	117.8	117.8	113.3	113.3	113.3	110.0	114.4	118.9	120.0
	草津第二	定員数(人)	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
		在籍数(人)	131	137	130	125	121	102	119	125	137	128
		在籍割合(%)	87.3	91.3	86.7	83.3	80.7	68.0	79.3	83.3	91.3	85.3
	第三	定員数(人)	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
		在籍数(人)	103	101	97	87	102	117	119	136	133	132
		在籍割合(%)	85.8	84.2	80.8	72.5	85.0	97.5	99.2	113.3	110.8	110.0
	第四	定員数(人)	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
		在籍数(人)	57	68	57	54	50	53	49	49	52	57
		在籍割合(%)	95.0	113.3	95.0	90.0	83.3	88.3	81.7	81.7	86.7	95.0
	第五	定員数(人)	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
		在籍数(人)	92	89	92	92	84	79	99	99	103	103
		在籍割合(%)	102.2	98.9	102.2	102.2	93.3	87.8	110.0	110.0	114.4	114.4
	第六	定員数(人)	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
		在籍数(人)	102	111	112	103	106	97	103	108	111	107
		在籍割合(%)	113.3	123.3	124.4	114.4	117.8	107.8	114.4	120.0	123.3	118.9
公立計	定員数(人)	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	在籍数(人)	587	612	594	563	565	550	588	620	643	635	
	在籍割合(%)	97.8	102.0	99.0	93.8	94.2	91.7	98.0	103.3	107.2	105.8	
私立	草津	定員数(人)	110	110	110	110	140	140	140	140	140	140
		在籍数(人)	122	118	122	120	147	148	150	144	148	153
		在籍割合(%)	110.9	107.3	110.9	109.1	105.0	105.7	107.1	102.9	105.7	109.3
	あさひ	定員数(人)	150	150	150	180	180	180	180	180	180	180
		在籍数(人)	167	170	178	201	205	206	208	203	200	209
		在籍割合(%)	111.3	113.3	118.7	111.7	113.9	114.4	115.6	112.8	111.1	116.1
	みのり	定員数(人)	210	210	210	210	210	210	210	240	240	240
		在籍数(人)	237	243	236	221	209	216	220	230	250	257
		在籍割合(%)	112.9	115.7	112.4	105.2	99.5	102.9	104.8	95.8	104.2	107.1
	志津	定員数(人)	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
		在籍数(人)	184	193	188	187	191	192	184	187	182	183
		在籍割合(%)	102.2	107.2	104.4	103.9	106.1	106.7	102.2	103.9	101.1	101.7
	すぎのこ	定員数(人)	110	110	110	110	110	110	140	140	140	140
		在籍数(人)	111	122	120	117	121	116	132	136	136	140
		在籍割合(%)	100.9	110.9	109.1	106.4	110.0	105.5	94.3	97.1	97.1	100.0
	あゆみ	定員数(人)	210	210	210	210	210	210	240	240	240	240
		在籍数(人)	240	247	245	246	241	233	244	256	256	258
		在籍割合(%)	114.3	117.6	116.7	117.1	114.8	111.0	101.7	106.7	106.7	107.5
草津大谷	定員数(人)	90	90	90	90	90	90	90	90	90	100	
	在籍数(人)	112	109	110	108	103	90	101	107	111	111	
	在籍割合(%)	124.4	121.1	122.2	120.0	114.4	100.0	112.2	118.9	123.3	111.0	
くるみ	定員数(人)	90	90	90	90	90	90	90	150	150	150	
	在籍数(人)	101	92	102	99	101	100	106	139	163	169	
	在籍割合(%)	112.2	102.2	113.3	110.0	112.2	111.1	117.8	92.7	108.7	112.7	
若草くるみ	定員数(人)	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	
	在籍数(人)	113	118	109	116	96	97	119	122	118	124	
	在籍割合(%)	94.2	98.3	90.8	96.7	80.0	80.8	99.2	101.7	98.3	103.3	
Purekids みのり	定員数(人)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
	在籍数(人)	13	17	21	20	20	18	15	19	19	20	
	在籍割合(%)	43.3	56.7	70.0	66.7	66.7	60.0	50.0	63.3	63.3	66.7	
ののみち	定員数(人)	-	60	60	60	60	60	60	60	60	60	
	在籍数(人)	-	63	72	73	69	69	68	69	70	71	
	在籍割合(%)	-	105.0	120.0	121.7	115.0	115.0	113.3	115.0	116.7	118.3	
さくら坂	定員数(人)	-	-	-	-	-	90	90	90	90	90	
	在籍数(人)	-	-	-	-	-	85	101	98	101	103	
	在籍割合(%)	-	-	-	-	-	94.4	112.2	108.9	112.2	114.4	
モンチ	定員数(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120	
	在籍数(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119	
	在籍割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.2	
私立計	定員数(人)	1,300	1,360	1,360	1,390	1,420	1,510	1,570	1,660	1,660	1,790	
	在籍数(人)	1,400	1,492	1,503	1,508	1,503	1,570	1,648	1,710	1,754	1,917	
	在籍割合(%)	107.7	109.7	110.5	108.5	105.8	104.0	105.0	103.0	105.7	107.1	
合計	定員数(人)	1,900	1,960	1,960	1,990	2,020	2,110	2,170	2,260	2,260	2,390	
	在籍数(人)	1,987	2,104	2,097	2,071	2,068	2,120	2,236	2,330	2,397	2,552	
	在籍割合(%)	104.6	107.3	107.0	104.1	102.4	100.5	103.0	103.1	106.1	106.8	

資料：幼児課（各年5月1日現在）

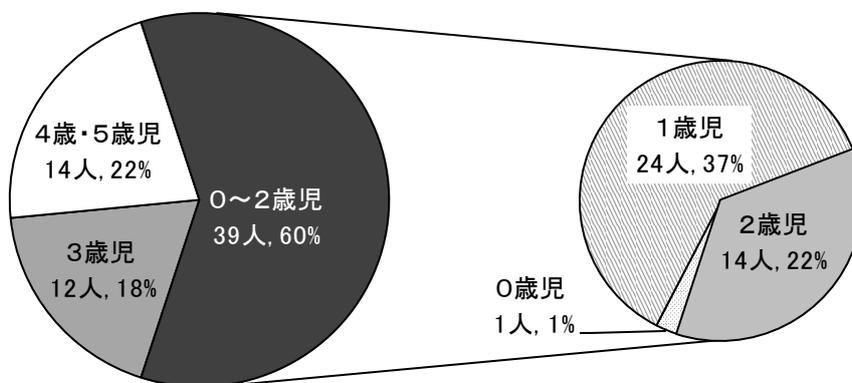
待機児童数は平成23年・平成24年の年度当初において、60人台であり、その6割を0～2歳児が占めています。私立の認可保育園における施設の増改築等による定員の増加を図ってきましたが、近年の保育需要に追いついていないのが現状です。

### ■待機児童数の推移



資料：幼児課（各月初日現在）

### ■平成24年における待機児童数の年齢別内訳



資料：幼児課（4月1日現在）

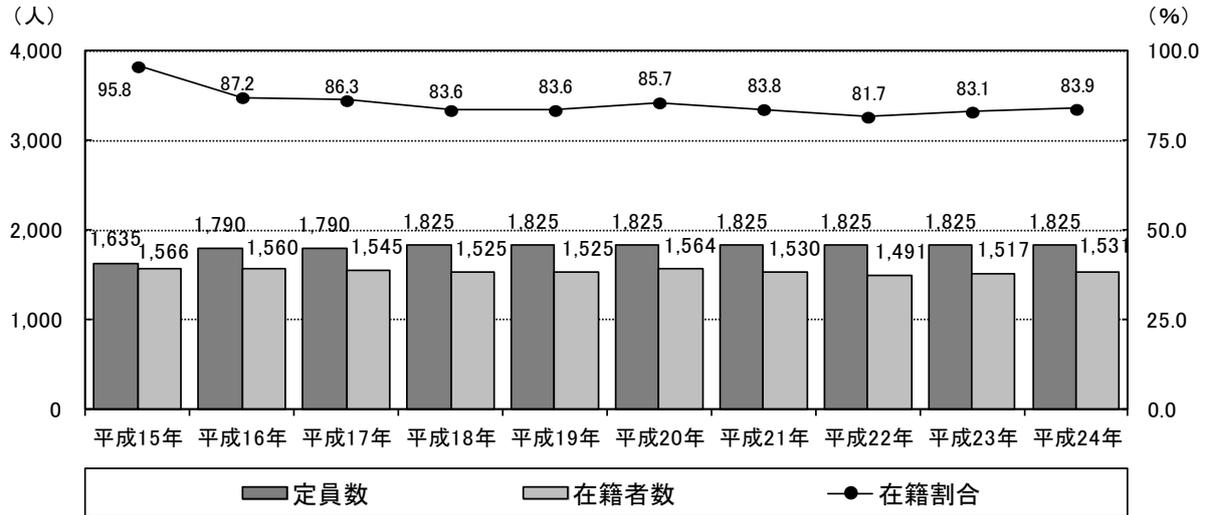
## ② 認可保育所（園）のまとめ

- 認可保育所（園）の定員超過の状態が続いており、就学前児童の増加や共働き世帯が増加する中で、保育が必要な就学前児童の受け入れ先の確保が求められます。
- 待機児童が発生し、認可保育所（園）が定員超過している中で、引き続き待機児童解消に向けた受け入れ体制を整えることが必要です。

### ③ 幼稚園の在籍状況

幼稚園の在籍割合は平成16年以降80%台で推移しており、定員数を下回る状態が続いています。幼児教育の重要性が高まる中で、幼稚園における就学前児童の受け入れを促進することが求められます。

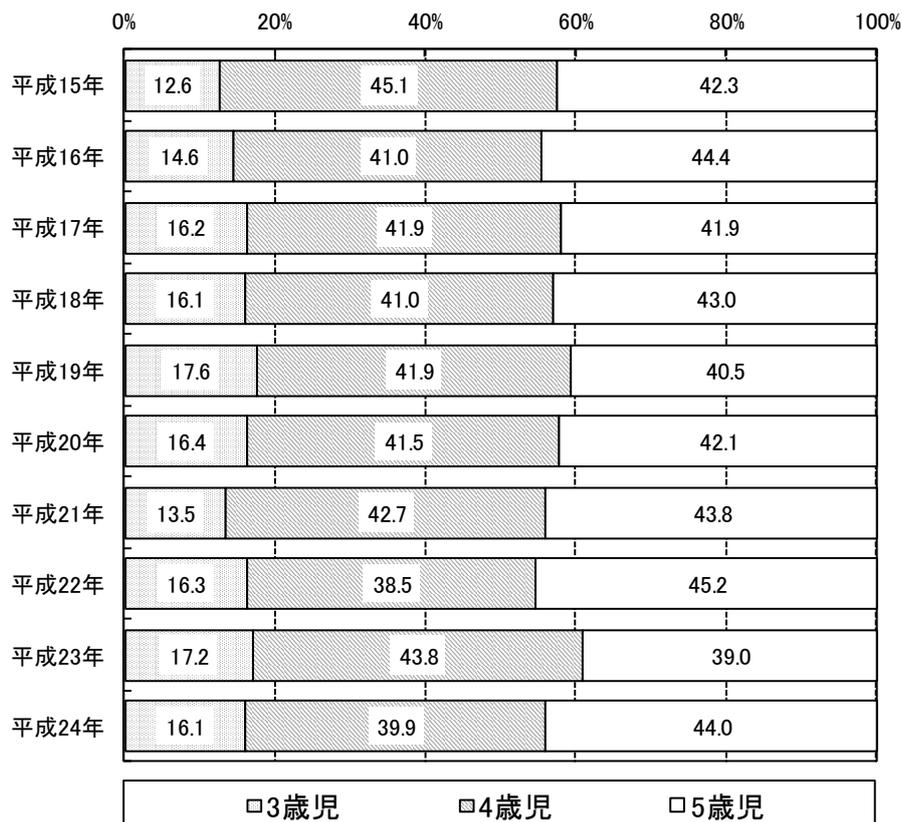
#### ■幼稚園の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

平成15年～平成24年にかけて、3歳児の占める割合は増加傾向にあり、私立の幼稚園における在籍割合が増えていることが伺えます。

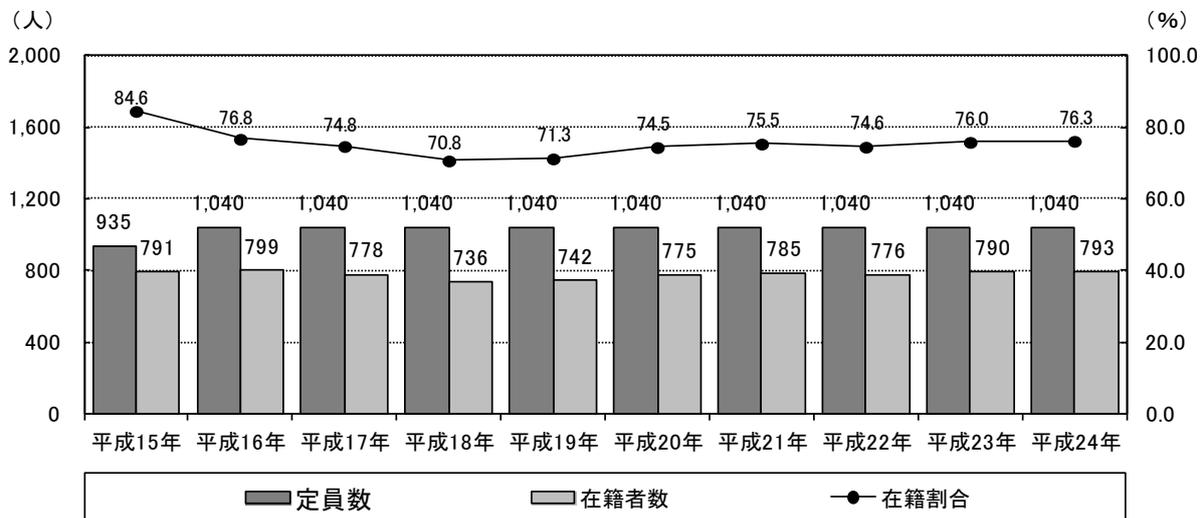
#### ■年齢別幼稚園の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

公立の幼稚園の在籍割合は、平成16年以降70%台で推移しており、定員数を下回る状態が続いています。

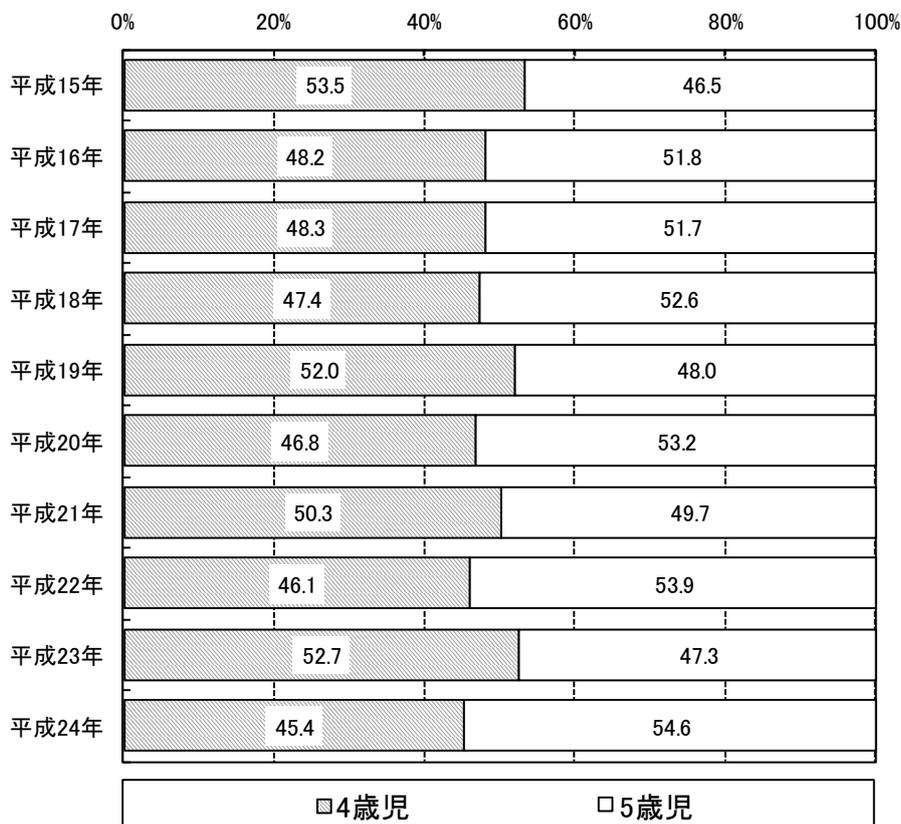
### ■幼稚園（公立）の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

平成15年～平成24年にかけて、4歳児と5歳児の割合はともに5割程度となっています。

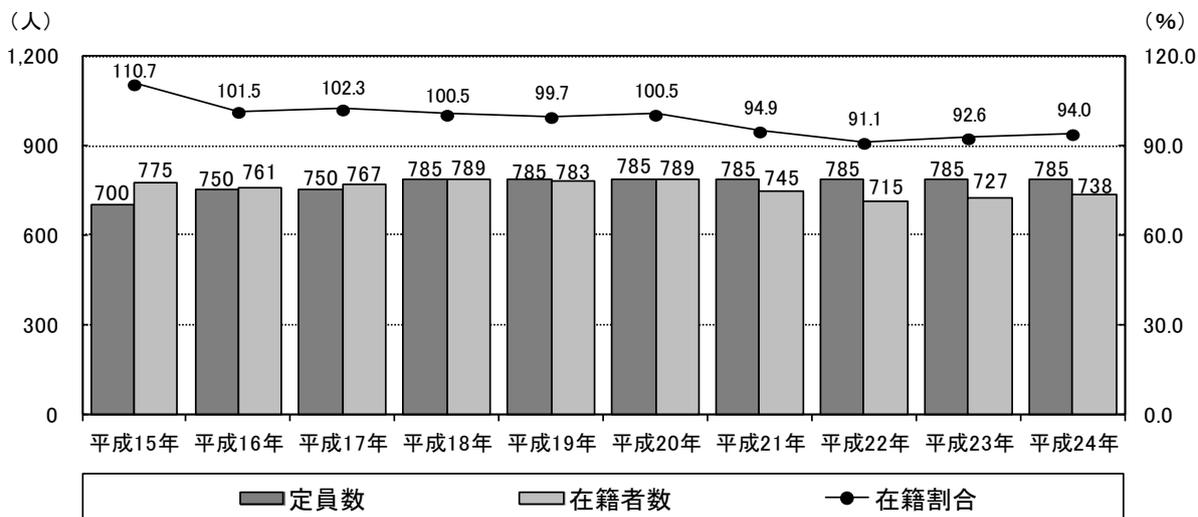
### ■年齢別幼稚園（公立）の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

私立の幼稚園の在籍割合は、平成15年以降概ね100%を超え、定員超過の状態が続いていましたが、平成21年以降、90%台で推移しており、定員数を下回る状態が続いています。

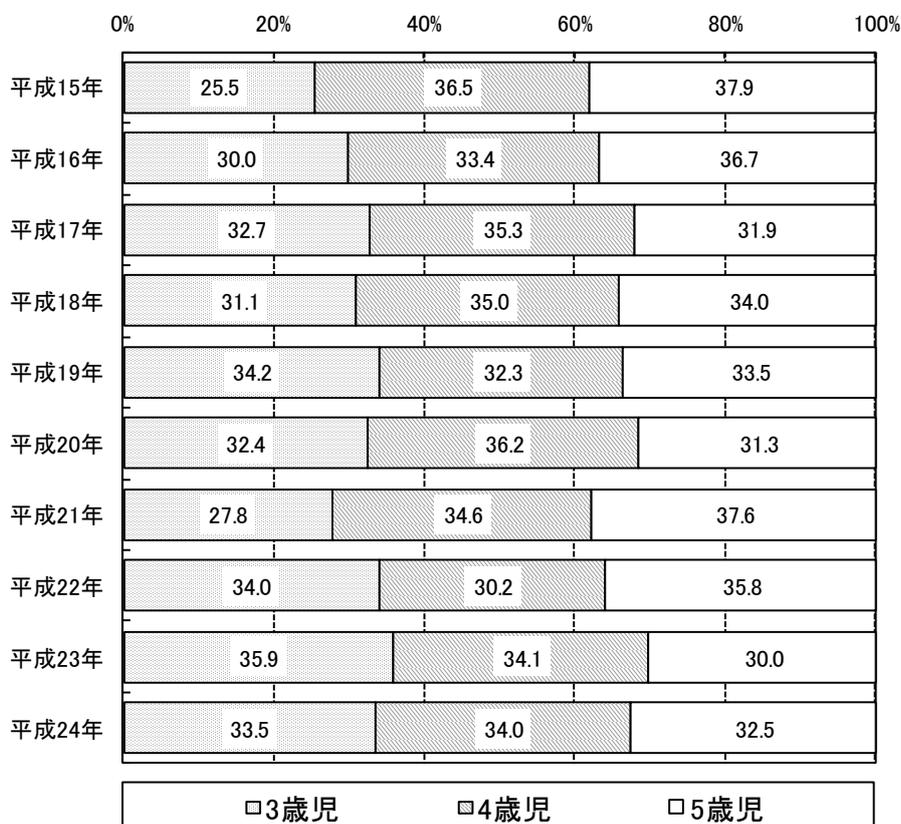
### ■幼稚園（私立）の定員数と在籍者数



資料：幼児課（各年5月1日現在）

平成15年～平成24年にかけて、3歳児の割合は増加傾向にあり、3歳児の入園需要が高まっていることが伺えます。

### ■年齢別幼稚園（私立）の在籍割合



資料：幼児課（各年5月1日現在）

幼稚園全体の在籍状況では、現在、私立1園を除き、各園ともに定員を下回っており、各幼稚園の地域的な状況での在籍割合に較差が生じている状況です。

### ■幼稚園の在籍状況一覧

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	
公立	志津	定員数(人)	130	130	130	130	130	130	130	130	130	
		在籍者数(人)	119	120	126	103	106	105	108	111	111	
		在籍割合(%)	91.5	92.3	96.9	79.2	81.5	80.8	83.1	85.4	85.4	89.2
	中央	定員数(人)	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65
		在籍者数(人)	71	66	54	44	50	50	50	55	37	39
		在籍割合(%)	109.2	101.5	83.1	67.7	76.9	76.9	76.9	84.6	56.9	60.0
	大路	定員数(人)	30	65	65	65	65	65	65	65	65	65
		在籍者数(人)	22	63	60	53	59	54	46	47	43	48
		在籍割合(%)	73.3	96.9	92.3	81.5	90.8	83.1	70.8	72.3	66.2	73.8
	矢倉	定員数(人)	30	65	95	130	130	130	130	130	125	120
		在籍者数(人)	35	70	83	94	102	110	97	93	98	101
		在籍割合(%)	116.7	107.7	87.4	72.3	78.5	84.6	74.6	71.5	78.4	84.2
	老上	定員数(人)	130	130	130	130	130	130	130	130	150	170
		在籍者数(人)	111	97	91	84	87	110	135	123	145	155
		在籍割合(%)	85.4	74.6	70.0	64.6	66.9	84.6	103.8	94.6	96.7	91.2
	玉川	定員数(人)	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130
		在籍者数(人)	119	113	125	110	99	95	92	102	105	96
		在籍割合(%)	91.5	86.9	96.2	84.6	76.2	73.1	70.8	78.5	80.8	73.8
	山田	定員数(人)	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65
		在籍者数(人)	58	59	36	32	39	47	41	41	47	42
		在籍割合(%)	89.2	90.8	55.4	49.2	60.0	72.3	63.1	63.1	72.3	64.6
	笠縫	定員数(人)	130	130	115	100	100	100	100	100	100	100
		在籍者数(人)	82	66	59	67	69	66	64	62	66	65
		在籍割合(%)	63.1	50.8	51.3	67.0	69.0	66.0	64.0	62.0	66.0	65.0
	笠縫東	定員数(人)	160	195	180	160	160	160	160	160	145	130
		在籍者数(人)	144	123	126	125	107	112	118	111	107	97
		在籍割合(%)	90.0	63.1	70.0	78.1	66.9	70.0	73.8	69.4	73.8	74.6
常盤	定員数(人)	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	
	在籍者数(人)	30	22	18	24	24	26	34	31	31	34	
	在籍割合(%)	46.2	33.8	27.7	36.9	36.9	40.0	52.3	47.7	47.7	52.3	
公立計	定員数(人)	935	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	
	在籍者数(人)	791	799	778	736	742	775	785	776	790	793	
	在籍割合(%)	84.6	76.8	74.8	70.8	71.3	74.5	75.5	74.6	76.0	76.3	
私立	信愛	定員数(人)	140	140	140	175	175	175	175	175	175	175
		在籍者数(人)	169	149	163	173	158	150	135	126	137	150
		在籍割合(%)	120.7	106.4	116.4	98.9	90.3	85.7	77.1	72.0	78.3	85.7
	草津	定員数(人)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
		在籍者数(人)	224	216	199	216	224	221	214	195	203	191
		在籍割合(%)	112.0	108.0	99.5	108.0	112.0	110.5	107.0	97.5	101.5	95.5
	若竹	定員数(人)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
		在籍者数(人)	187	187	188	180	182	184	168	166	156	173
		在籍割合(%)	93.5	93.5	94.0	90.0	91.0	92.0	84.0	83.0	78.0	86.5
	草津カトリック	定員数(人)	160	210	210	210	210	210	210	210	210	210
		在籍者数(人)	195	209	217	220	219	234	228	228	231	224
		在籍割合(%)	121.9	99.5	103.3	104.8	104.3	111.4	108.6	108.6	110.0	106.7
私立計	定員数(人)	700	750	750	785	785	785	785	785	785	785	
	在籍者数(人)	775	761	767	789	783	789	745	715	727	738	
	在籍割合(%)	110.7	101.5	102.3	100.5	99.7	100.5	94.9	91.1	92.6	94.0	
合計	定員数(人)	1,635	1,790	1,790	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	
	在籍者数(人)	1,566	1,560	1,545	1,525	1,525	1,564	1,530	1,491	1,517	1,531	
	在籍割合(%)	95.8	87.2	86.3	83.6	83.6	85.7	83.8	81.7	83.1	83.9	

資料：幼児課（各年5月1日現在）

### ③幼稚園のまとめ

- 幼稚園に在籍する児童数が微減傾向の中で、公立・私立幼稚園ともに定員を下回る状況が続いており、地域的な在籍割合の較差も生じています。
- 子育て世代の共働き世帯数の増加や就労形態の多様化が進む中で、就労層への幼稚園における幼児教育や預かり保育の要請が高まることが推測されます。

#### ④ 小学校区別の就学前児童と就学前施設(認可保育所(園)・幼稚園)の状況

小学校区別の就学前児童と就学前施設の状況では、草津小学校区を除き、定員・在籍者数ともに就学前児童数を下回っており、各地域の就学前児童数・就学前施設の設置数には較差が生じている状況です。

##### ■小学校区別の就学前児童と就学前施設の状況

	就学前児童数(人)			就学前施設定員(人)			就学前施設在籍者数(人)		
	平成20年	平成24年	増加率	合計	幼稚園	保育所(園)	合計	幼稚園	保育所(園)
志津	712	760	106.7%	400	130	270	402	116	286
志津南	348	615	176.7%	120	-	120	124	-	124
草津	643	521	81.0%	715	475	240	690	454	236
草津第二	816	573	70.2%	560	440	120	498	371	127
矢倉	623	683	109.6%	260	120	140	254	101	153
渋川	548	516	94.2%	-	-	-	-	-	-
老上	792	1442	182.1%	500	170	330	509	155	354
玉川	732	650	88.8%	190	130	60	167	96	71
南笠東	461	397	86.1%	180	-	180	209	-	209
山田	396	418	105.6%	205	65	140	182	42	140
笠縫	465	623	134.0%	490	100	390	491	65	426
笠縫東	544	550	101.1%	370	130	240	355	97	258
常盤	239	228	95.4%	225	65	160	202	34	168

資料：就学前児童数／住民基本台帳及び外国人登録人口（各年4月1日現在小学校区別）

就学前施設定員・在籍者数／幼児課（平成24年5月1日現在）

※在籍数は各小学校区内にある施設の在籍者の合計であり、各小学校区に在住する就学前施設在籍者の合計ではない。

## 4. 草津市の保育所(園)・幼稚園における現状と課題まとめ

### 就学前児童を取り巻く環境

#### 人口

就学前児童が増加しているが今後減少に転じることが予測される

#### 世帯

核家族化により、家庭・地域での保育・教育機能の充実や子どもの多様な交流機会の充実が必要

#### 就業

共働き世帯の増加や多様な就労形態が進む中で、保育ニーズへの対応や預かりなどの保育需要の受け皿の確保が必要

### 上位・関連計画等との関係

#### 第5次草津市総合計画

幼保の連携による子どもの育成や、多様化、増加する保育ニーズへの対応が必要

#### 草津市次世代育成支援対策地域行動計画

人間形成の基礎としての就学前教育の充実が必要。待機児童の早期解消や多様なニーズに応じた保育サービス提供の充実が必要

#### 草津市教育振興基本計画

希望する就学前施設への入所と就学前の教育の充実や統一、幼保小の連携が必要。保護者の交流や安心して子育てできる環境づくりが必要。

#### 草津市保育実施計画

就学前児童の増加に伴う保育需要への対応が必要。保護者のニーズ等に応じて、必要な保育サービスの提供や検討が必要。

### 認可保育所(園)・幼稚園における現状と課題

#### 就学前施設(認可保育所(園)・幼稚園)

在籍者数が増加しているが、就学前施設全体としては定員を下回っている。

#### 認可保育所(園)

定員超過が続いているとともに、待機児童が存在しており、受け入れ体制の確保が必要

#### 幼稚園

定員を下回る状況が続いており、地域的な在籍格差も生じている。増加する就労層への対応を検討していく必要がある。

### 幼児教育と保育の内容

第3回検討委員会で検討予定

### 課題のまとめ

- 待機児童の解消を前提に、希望する就学前施設への受け入れ体制の確保
- 就労率の向上と多様な就労形態に対応した就学前施設(幼稚園・保育所)のあり方
- 3歳児以上の未就園児に対する幼児教育の提供
- 保育所(園)の定員超過及び幼稚園の定員割れに対する対策
- 今後の人口動態や就学前施設の地域間較差への対応
- 全ての就学前児童に対する充実した教育と保育の提供と機会の保障
- 一貫した幼児期の教育・保育(学びの連続性や多様な交流機会の拡充など)